日 記

明治十四年辛巳一月吉日

## 月日

御主人様方御揃ヒニテ雑煮餅御祝在之候、且店一統・台所打揃ヒ新年

御吉慶申上、畢テ雑煮餅相祝ヒ候事

恵方参りとして、御主人様・若御主人様・秀次郎様、 八丁堀礒部大神

宮工御参詣被成候事

為歲頭、 田村幸次郎・仁杉英殿入来之事

## 月二日

昨日之通、雑煮餅御祝在之、已下同断之事

川越店より旧臘出火見舞状至来之事

梅若近右衛門殿入来、 謡初メ幷稽古始メ在之候事

為年頭、 奥三郎兵衛殿・久代吉十郎殿・魚屋太介・万屋利右衛門・秋

> 清市殿・平野法城殿入来之事 元惣吉・細谷資重殿・梅若近右衛門・安井敬七郎・竹むら良庵・関野

## 月三日

為歲頭若御主人樣、鈴木善三樣・太田咋・弥石重五郎殿・大河内 (旧(公服) 大滝公)・松平信正公(旧亀岡)・板倉勝達公(旧重原公)・牧野弼成公

公・理性寺・正興寺・松平篤郎公・通円寺・平岡興一様・細谷資重(旧舞鶴公)・中むら清行様・板倉勝巳公(旧重原隠居)・多々良玄達

様・水野忠敬公(旧菊間藩)・久代吉十郎様車ニテ御廻りニ相成候事(江殿)

、秀次郎様、町内一円幷名倉藤三郎・中伊右衛門・飯塚八右衛門・川む ら伝衛・本屋惣吉・長谷川与八・米屋忠兵衛・米屋佐次兵衛・久能屋

善介様等、為歳頭御廻りニ相成候事

一、浦井竹窓様為歳頭御入来、 御主人様御面会被成候事

一、鈴木善三様·吉益正雄殿為歳頭入来、 御主人御面会在之、昼飯差出し

候事

## 一月四日

、若御主人様、下谷古筆了仲殿・大河内信古様・聞城寺・浅草観世音・(㎏) 佐藤市太郎様・井上治介様・酒井惺斎様・松平定敬様エ年頭ニ御越シ

被成候事

一、本日、府下消防人足幷消防隊出初メ在之、鍛冶橋内調練場ニオイテ 出初式中、消防隊ト鳶人足ケンカ有之候報也

十軒店斎藤善助入来ニテ、 旧臘出火之節為挨拶御出被成候事

昨夜、 本郷病院焼失之事

為歲頭、 衛・谷むら正養・板倉屋忠兵衛入来之事 中 むら清行様 ・高津金七・米屋忠兵衛・ 太田惣吉 村伝

### 月五日 亥

- 御主人様、水天宮ェ御参詣ニ御出被成候事
- 若御主人様、 梅若近右衛門方ェ車ニテ年玉ニ御出被成候事 深川佐賀町より松平信正公下邸幷両国御邸及松浦宏殿・
- 浦井竹窓様御入来、 御主人御面会被成候事
- 若御主人・秀次郎様、 水天宮ェ御参詣可被成候事、 御供勝造相越候事
- おまきさま・およしさま、水天宮ェ御参詣ニ御出相成、 御供たま相越
- 為歲頭、 珉・伊藤吉蔵・多々良玄達殿・鳶金蔵・三田村豊次郎入来之事 藤江・下谷本屋・鹿島御隠居・畳屋新兵衛・越後や・小 Щ 松
- 梅若近右衛門入来、 御主人方謡稽古被成、 後十時帰宿二相成候事

### 一月六日 子 天気

- 吉方御砂取として、 永田町日枝神社・ 川河 天神・ 四ツ谷牛頭天王ェ秀
- 為歲頭、 堀事・鹿島屋市太郎様入来之事

次郎公車ニテ御越しニ相成候事

### 月七日 丑:

- 前田 了伯殿入来、 御 主人御面会被成候事
- 多々良玄達様・隠田伊久、為年玉入来之事

### 一月八日 寅

- 一、今暁四時頃、 夫より弁当差出し申候事 神田松下町辺より出火ニ付、 鈴木善助様工為見舞孝吉相
- 右に付為見舞、 成、夫より松平信正公・板倉勝達公・関野清市様エ為歳頭御廻勤候事 蜜かん壱箱御同人様エ御主人様御持参ニテ御越しニ 相
- 一、午後八時頃芝新銭座辺出火ニ付、 当・にしめ等相送り候事 細谷資重殿エ為見舞勝蔵遣し、
- 午後より伝七、旧商店得意年玉ニ相越候事
- 為歲頭、 分兵衛様・大工吉兵衛入来之事 左官孫兵衛・平野太郎兵衛・斎藤善助様・名倉藤三郎

附井上治介様幷伊勢屋勇治殿入来

### 一月九日 卯

- 市川新六様、 為歳頭御入来、 見世ニテ若主人面会被成候事
- 細谷資重殿より昨夜出火之節ハ早速御人被下、且御見舞御送り被下 候礼厚申述、 重箱二ツ返却有之候事
- 川越横田五郎兵衛・徳三郎殿より年始状至来候事
- 一昨八日午後三時、当町でから良庵殿入来之事 久七住居戻下ェ差火いたし有之、 ニテ町抱鳶エ申付、 いたし候者有之候得共、即隣家之者駆付鎮火被致候より、差配人申合 火の廻り被致候、 当町三番地炭・薪木渡世西尾久七二階下身ェ付火 即隣家之者見留取消いたし候事 然ル処本日午後九時頃、 亦西尾

### 月十日 辰 天気

桂川甫肝殿為年頭入来、 御主人様御面会之上、 御酒宴有之候事

大工吉五郎為年頭入来并旧臘申付候茶坪外箱弐ツ出来持参候事

平山金蔵為歳頭入来之事

### 月十一日 巳

御鏡開キ内祝ヒ店中ニテ有之候事

為歲頭、 太田資竜様・市野源兵衛・丸屋長左衛門入来之事

当町夜中廻り之義ニ付、 佐藤平兵衛入来ニ付、 伝七幷孝吉面会、夫々町内店二出金割合之義談 差配人平岡儀兵衛・小林吉兵衛・清沢平作・

いたし候事

午後四時三十分頃宮崎吉兵衛使ニテ、東京裁判所御裏書附訴状壱通持 得止請取置候事 相答候ニ付持帰り、 参ニテ、請取呉候様申込、 六時三十分頃書留郵便を以前書訴状至来ニ付、不 依テ伝七答、 久右衛門不在二付請取兼候旨

附テ仁杉氏ェ前条之次第申通し置候事

### 月十二日 午

奥三郎兵衛殿より使を以菓子折壱ツ・手紙至来いたし候事

鈴木善三様御入来、 御主人御面会被成候事

旧福しま藩士関野清市様御入来、 前同断

焚木遣払ニ相成候間大至急相送り候様、喜多むらエはかき差出し候事 郵便を以茶事秘書至来候事

横浜柳町浦井竹窓殿より、

午後四時過 東京御裁判所糺間掛り明十三日午前九時出頭候様、GRE) 御差

> 附久平治義も同様御呼出しニ付、 同 人御差紙ハ秋元惣吉を以相

送り候事

## 一月十三日

本日、東京裁判所糺問掛りェ午前十時出頭いたし、 用済ニテ引取候事 後二時三十分頃御

附テ御腰掛まて伝七相越し候事

夜二入、仁杉英殿御入来之事

多々良玄達様御隠居御入来之事

### 一月十四日 申 天気

昨夜、 附用向ハ銀行利東改正ニ相成、(息) 川越店より十二日出之状相達し候事 依テ約定書也

鈴木善三様より御紙面至来之事

浅草紙遣払ニ相成候間、 千住木屋徳兵衛方注文いたし候事

本日町内夜廻り之義ニ付、 差配人一統集会致候事

### 月十五日 酉

川越店ェ銀行約定書調印之上、 郵便を以相送り候事

木挽町九丁目辺出火有之候事

### 月十六日 戌 天気

第壱国立銀行十三年後半季清算勘定集会二付、 両御主人様御出頭被

成候事

竹むら良庵殿、 為見舞入来之事

川越店より安之助を以手紙至来之事

附用向ハ新川隠居贈金ノ件ニ付、 証書改書至来之事、 依テ返書同

人工依頼候

### 一月十七日 亥

去ル十四日、拾弐番地内久保田倉吉店明渡し申候事

町内夜中火の廻り之義ニ付差配人ェ各地主名面取合、廻状差出し 候事

伝七夜ニ入、 鉄砲町まて罷越し候事

仁杉英殿夜ニ入御越シ、 御主人様御面会被成候事

### 月十八日 子

本日、 糺問御掛りェ請日ニ付主人出頭仕候処、相手久平治病気之旨を

以日延願差出シ、 依テ追テ御呼出シ有之旨ニ付引取候事

附テ仁杉氏弁伝七御腰掛迄相越候事

### 月十九日 丑: 午後より晴ル雨

昨十八日後五時頃より雨降出し、今暁二時頃より雪降、早朝まて三・

四寸程ツモリ候事

附昨十一月廿三日已来之降二付、 一同安心唱ヒ候

片輪車ノ下絵原田平治郎エ依頼いたし候処、 認メ持参候事

松原氏発会二付、 御主人様御出被成、 後八時頃より勝蔵御迎ニ御出被

吉田氏入来之事

### 月廿日 寅

昨十九日、奥三郎兵衛殿ヨリ手紙使至来之事

鈴木善助様より御同家御近火之節、左官惣吉・伊之介・鳶勘太駆付候 ニ 付、 為酒料金弐十銭ツ、御遣し相成、依テ右三人エ相渡候事

鉄砲洲丸屋長左衛門炭注文、畳屋新兵衛ェ畳□直し、 鈴木善三様御入来、御主人御面会被成候事 綿屋長兵衛工桜

テ打臥居候間急々御見舞被下候様、 右何れもはかきを以相送り候事

炭注文、喜多むら利兵衛ェ焚木見本注文、竹むら氏ェよし義、

持病ニ

### 月廿一日 卯

昨廿日、川越店より十九日出之状至着いたし候事

附テ年始状改テ至来之件

洪斎社よりよしェ、来廿四日兼テ満員ニ相成候間、(共済) 本証書御渡申候 いかきを

間、 以申越候事 本人御越し、又者代人ニ候ハヽ委任状持参御越被下度、 は

一、夜二入、仁杉英殿御入来、御主人御面会有之、宮崎事件答弁書御相談 候事

### 一月廿二日 辰

糾問御掛りより、 明後廿四日第九時出頭候樣御喚状至来候事

鈴木善三様方へ掛物持参候事、 使勝蔵

## 一月廿三日

日本橋警察使署久平治事件ニ付、御主人様御越しニ相成候事(ホン ロール)

右二付、鈴木善三様・久代吉十郎様・若御主人様御越しニ相成候事

畳屋新兵衛入来、座敷向畳□直し相越シ、午前より十二時まて仕事い たし候事

喜多むら利兵衛より焚木拾五束為見本相送り来候、 長桜すみ壱俵、 右同断送り来候事 綿屋長兵衛より

月廿四日 (午脱) 程なく晴ル、曇天ミそれ・雨交り降、後三時頃午前九時頃より十二時頃まて 後三時頃雪降

本日午前十時糺問掛りェ出頭仕候処、十二時過ニ相成、御掛りより久 平治病気ニテ不罷出、 依テ厳重相達候間、明廿五日自分ニも可罷出旨

御申渡有之候事 附テ伝七義者、下足跡より面会願ニテ御ハ入いたし候事(這)

仁杉英殿入来、及谷むら正養殿・前田了伯殿入来、何れも主人面会い

たし候事

祐天寺方丈入来、 御主人樣御面会有之候事

小船町躋寿社紅よし代理として孝吉出頭、規則之通本証書請取候事(舟)

日本橋警察所孝吉、久平治ノ事件書類持参候処、 <sup>G.E.</sup> 面会之上云々被仰渡候事 警察副使野間口氏

松平信正公より〈米〉弐樽注文、 はかき至来之事

月廿五日 未 天気

> 本日受日に付、東京裁判所糺問掛りょ主人出頭仕候処、 テ不罷出、 追テ御呼出候事 久平治病気ニ

附テ御腰掛まて伝七相越候事

附テ仁杉氏ェ御腰掛まて出頭致し呉候事 久平治義ハ来ル廿九日出被仰付候

月廿六日 西北風 正 慕 風 也 申

今暁一時四十分頃 候事 付、松坂町松浦宏幷松平信正公御隠宅・紙屋弥兵衛其外エ見舞差出し 川木場辺迄延焼、近年稀成大火、午後六時頃漸々鎮火いたし候、右ニ 神田松枝町辺より出火致し、両国辺一円本所・深

一月廿七日

酉

東京御裁判所より、来ル三十一日宮崎吉兵衛より相係り候件に付、 審申付候間可出頭旨、御喚状至来之事 対

附テ右御差紙仁杉氏ェ伝七を以相送り候事

躋寿社々員山岡松之助与申者死去ニ付、順備金弐円○三銭孝吉持参(準)

候事

奥三郎兵衛殿より郵便至来之事 附テ尾張町精飯会社ヨリも至来之事(極力)

### 月廿八日 戌 天気

別条無之候事

### 月廿九日 亥

## 清水屋金七殿入来之事

松平篤郎様で明三十日上納に罷出候旨郵便差出し候事

喜多むら利兵衛方ェ焚木買入之約定申遣ス 但し両ニ拾東かヘニテ代金五拾円也

### 月三十日 甲子

松平篤郎様工本日可伺候処、要用出来候二付、 明三十一日伺公仕候(候)

旨はかきを以申通候事

植木金太郎入来 二付、 屋徳兵衛倅見舞ニ相越候間、挨拶として金五十銭同人エ依頼候事 旧臘年暮幷印半天相渡幷旧臘出火之節、 植木

甲子ニ付、 山本智定殿為祈禱入来之事

仁杉英殿、夜二入被来、後十時頃御帰被成候事

### 一月三十一日 丑: 天気

松田長右衛門殿御家內入来之事

一、仁杉英殿入来ニテ、本日東京裁判所江宮崎吉兵衛より相係り候事件ニ

付、対審として出頭候処、宮崎吉兵衛外壱人病気之旨ニテ来四日まて

日 延願出候旨、 御掛りヨリ被申渡侯由御演舌有之候

附テ糺問掛りェ本日久平治罷出居、 為差添明治二年頃相勤居候

熊次郎与申者、 当時平野清次郎与唱ヒ、 モクリ代言人業致候

者同道いたし居候由、 御咄し有之候事

久代吉十郎殿御入来、 主人及仁杉氏、 本日云々御咄し有之候事

## 但し云々ハ久平治之事

一、畳屋新兵衛入来、中之間薄縁出来候事

但し利束持参候事 (息) 奥三郎兵衛殿代又吉殿入来、 若主人面会いたし候事

堀事入来、伏見町十二月分地代相納幷拝借金之内金五円幷利束上納(息)

之事

## 二月一日 寅

一、尾張町弐丁目精飯会社工若主人株金半高御持参候事(板力)

清水屋金七殿入来之事

桂川甫肝殿より、はかきを以石州半し注文至来、及女中衆を以亦々依 頼有之候事

### 二月二日 卯

桂川甫肝殿より昨日依頼有之候半し之義に付、 勝造を以御断御返しニ

遣し候事

清水屋金七殿入来之事

片門前町伊之助、旧十二月分地代上納ニ相越候事

鈴木善助様より御手紙、 使を以至来候事

### 月三日 辰 十時頃より

昨二日、大工吉兵衛出方鶴吉相越 縁側廻り雨戸ェ板南蛮取付候事

雨

清水屋金七殿入来之事

## 一、仁杉英殿夜二入御入来之事

## 二月四日 巳 天気

罷出候処、久平治義引合ニテ御呼出しニ相成候事一、本日、東京裁判所民事ェ宮崎吉兵衛より相係り事件対審ニ付、仁杉氏

但し久平治義ハ糺問掛りェ罷出候間、民事課より同人ヲ御呼出

しニテ即対審相成候

一、釜屋稲荷初午祭典宵ミヤニ付、御社掃除いたし御飾付仕候事

附テ鳶金蔵、ろ組与記載有之候二寸挑灯壱対奉納いたし候事

成、続テ野むら方より使を以、只今主人帰宅仕候間御遊ニ御越被下候、御主人様、檜物町野むらェ御越しニ相成候処、不在ニ付即御帰りニ相

一、御主人様・およしさま、駿河台甲賀町仏堂講義聴問ニ相越シ相成候事

様申来候事

## 二月五日 午 天気

- 、東京裁判所工昨四日対審口供書写二仁杉幷伝七相越候事
- 一、古筆了仲幷清水屋金七殿入来之事
- 差出シ幷店中ェ赤飯被被下候、左官孫兵衛・店伝七より備物献納有之(新字) (強) (強) 、釜屋社祭典に付山本智定入来、御祭事之式被行、夫より赤飯・にしめ

候事

- 、躋寿社よりはかきを以、社員大竹元春死去致し候間、盟約之通金弐
- 円三銭送致候様申来候事
- 、細谷資重殿より郵便至来致候事

仁杉殿入来、

昼飯差出し候事

# 但し同人より兼テ御依頼に付、馬上蠟燭十五挺勝蔵を以御送り

### 申上候事

- 一、梅若近右衛門殿ェ明六日御入来被下候様、はかき差出し申候
- 、桂川甫肝殿はかきを以、石州条半し・唐津半し見本御送り被下候様

依頼有之候事

## |月六日 未 天気

- 壱俵ニテ代金五円丈買入候、員数之内受取候事一、一昨四日、湯しま綿屋長兵衛より桜炭弐拾六俵送り来り候、且両ニ拾
- 一、雲州流水指手桶出来ニ付、勝蔵を以安田善次郎殿宅ェ相届ケ候事一、梅若近右衛門殿入来之事
- 、浦井竹窓殿御入来之事
- 一、深川相川町木村忠蔵方ェ白米之義ニ付、
- 一、谷むら正養殿入来ニ付、主人及梅若近右衛門・若主人鉄之助・秀次郎
- 等ニテ謡催シ有之候事
- 、鈴木善三様・松原様入来之事
- 一、桂川甫肝殿ェはかきを以、唐津半し至急之御用意候ハヽ弁し兼候趣

申遣候事

一、土蔵・家税之義に付、区役所より順達を以明七日出頭候様申越候事

## 二月七日 申 天気

- 十四年前半年分、区役所江若主人持参相納メ申候事一、当町十番・拾壱番・拾弐番地々租明治十三年後半年分、地方税明治
- 、木むら忠蔵代相越、依テ白米両ニ八升ニテ三九五入拾五俵買入約定い

郵便差出し候事

たし候事

芝片門前町差配人はかきを以、ち印長屋本日引払候旨申来候事

東京御裁判所糺問掛りより、明八日第八時久平治エ関スル件ニ付可罷 御喚状至来候事

### 二月八日 天気

東京裁判所糺問掛主人罷出候処、 九 日可罷出旨達し候ハ、引取 御掛高洲殿御出勤無之候二付、 明

附テ仁杉氏弁伝七、 御腰掛まて相越候事

從前当家二相勤居熊次郎与申者当時平野精二郎、 久平治罷出居、代言人岡本忠兵衛附属之者壱人差添居、外ニ 他ノ件ニテ

松浦宏殿より使を以、 ま御越ニ相成、 午後四時頃より御主人様悔ニ御出被成候事 御同人妻御死去之旨為知来候、依テおよしさ

出頭致居候哉、

久平治与談入致し居候

平野精二郎相越 之事故、旦那ニおゐて差添不相成止旨難延義、 夫より事件御咄し、 ニ有之候事与存候、 相勤メ候事故、此段御主君ェー応申上度旨申聞候、依伝七ノ答、 久平治殿相越候テ、明日より是悲ニも差添之義御依頼ニ候得共、(非) 候熊次郎与申者本日糺問掛り腰掛ニテ久平治殿ニ面会、従前当家ニ相勤本日糺問掛り腰掛ニテ久平治殿ニ面会、 且不在中ニ付、 夫より御用済ニテ同車致シ、かきから町同人宅迄 仁杉氏ェ御越御咄しニ可被成旨 差添ノ有無ハ貴所の胸 、当今 従前

送り候事

桂川ヨリ紙依頼ニ付、

昨八日幸吉 全より見本借用イタシ、

桂川エ

本日、糾問掛りエ主人出頭、 附テ仁杉及伝七、 御腰掛まて相越、 後十時頃帰宅候事 来ル十四日出候事

本所松平信正公御隠居サマより醤油注文、 はかき至来候事

川越横田五郎兵衛様御入来之事

附昨日、 御同人より鴨二羽至来之事

清水屋金七殿入来之事

### 二月十日 亥 天気

一、古筆了仲茶事に付、両御主人様十時頃ヨリ車にテ御越し被成候事

東京裁判所民事課エ宮崎吉兵衛より相係り候事件ニ付、 出頭弁引合人として伝七・孝吉罷出、 後三時過相戻り候事 代人仁杉氏

上州伊香保木暮武太夫、 為歲頭相越候事

吉益正雄殿入来之事

牧野様御家令荒木分兵衛殿より郵便至来候事

### |月十||日 子 天気 北暴風

梅若近右衛門殿、 謡稽古として入来之事

茅場町松田長左衛門殿妻入来之事

井上久七殿入来之事

答、

右二付引取候事

二月九日

戌

天気

深川相川町木むら忠蔵殿方より、 七拾三円八十七銭五厘相渡候後、 右之内拾弐俵同人方ェ預り書取、 白米三斗九升四合入拾五俵、(二隻)脱) 代金 相

預ケ候事

午後六時過神田小柳町辺より出火、正北強風ニ付、 ニ付為手伝、 大伝馬町・長浜町河岸・村松町等延焼、 町・元岩井町・旅籠町・鉄砲町・通塩町・田所町・富沢町・長谷川町・ 元誓願寺・御玉ヶ池・豊しま町・岩本町・岩井町・丸太河岸・小伝馬 京橋亀吉・近源亭・足袋屋惣吉・伏見町差配人堀事入来 十二日暁一時頃漸々鎮火、右 紺屋町・富山町

### 二月十二日 ∄:

右出火ニ付為見舞、 加藤嘉庸殿ゴミかん壱箱、幸吉を以相送り申候事

横田五郎兵衛様御入来之事

安田善次郎殿方より手紙を以、明十三日本所宅ニ於て茶事仕候間、 正

午迄御入来被下度旨案内有之候事

浦井竹窓殿入来、 御主人御面会被成候事

### 二月十三日 寅 午後より曇天

横田五郎兵衛様御入来、 夫より外務省附属延寮館拝見ニ御越ニ(遼) 相成、

為御案内孝吉相越候事

安田善次郎殿茶事ニ付、 御主人様車ニテ御越しニ相成候事

桂川甫肝殿入来、 即御帰りニ相成候事

鈴木善三様御入来、 見世ヨリ御帰りニ相成り候事

二月十四日 曇天 卯 後五時頃晴ル前十一時頃より雨降

東京裁判所糺問掛りェ本日罷出へく候処、主人病気に付、 明十五日迄

> 御日延願出、 仁杉英殿エ依頼いたし候事

附テ書面差出しハ中むら鵆殿持参、即御聞済之由申来候事

鈴木善三様御入来之事

お玉ヶ池正五位竹腰正美様・比留間氏ェ、去ル十一日出火之節類焼ニ

付、 見舞物伝七持参候事

附テ小駒半次郎類焼ニ付、手拭二ツ為見舞として送ル、下谷二長(帝字)

町拾六番地へ転住致候

## 二月十五日

東京裁判所糺問掛りェ御日延当日ニ付、 主人出頭致候、 十二時四十分

頃御用済ニテ引取候事

附テ仁杉氏・伝七、 御腰掛まて相越候事

鈴木善三様御出張先第一国立銀行へ御主人御出被成候事

秀次郎公、お三稲荷及砂村大智稲荷へ参詣ニ御出被成、御供勝蔵相越

附テ鳶金蔵も相越候事

昨十四日、 釈誓道信士様御祥月ニ付、 聞(成) へ例之通御読経料被下 (トト)

伏見町寺田勇治亡妻より家屋売渡度旨申出、 (亡脱) (衍字) 候様、はかきを以相通し候事 依テ買入治定ヲ差配人

堀事方エ申遣シ候事

### 一月十六日 巳 雨 雪少々交ル

本日別条無之候事

## 二月十七日 午 天気

一、清水屋金七殿入来、竹花入梅之樹至来いたし候事

、川越店より消炭拾五俵送り来候事

、竹むら良庵殿、為見舞入来之事

附テ先分とも酒料両度遣ス

一、茅場町平山金蔵殿方『三幅対之掛物、勝蔵持参候事

附旦那より手紙添候事

## 二月十八日 未 天気

、成瀬先生へ郵便御差出し候事

梅若近右衛門殿入来、謡稽古有之候事

附おまきさま、仕舞稽古御始メ被成幷松田長左衛門殿妻とみと

の入来、謡及仕舞入門致候事

.若御主人様、御風邪ニテ御引籠ニ付、ふしえ女ヲ迎ニ新川ェ勝蔵相越

候事

二月十九日 申 天気 雨降ル

、鈴木善三様御入来之事

一、竹むら良庵殿エ御薬取、勝蔵相越し候事

一、仁杉英殿、夜ニ入御出被成、十時過御帰りニ相成候事

一、紙屋弥兵衛殿より、同人方類焼之節、早速御見舞被下候旨礼ニ相越

手拭四筋為謝礼至来候事

二月廿日 酉 九時頃より雨ニ成ル 今暁五時頃より雪降ル

一、鈴木善三様より御手紙至来之事

一、梅若近右衛門殿、謡・舞稽古御出被成候、後十時御帰りニ相成候事

八丁堀松原氏より薩摩焼壱ツ・手紙至来之事

一、旧福しま藩士関野清一様御入来、店ニテ暫く御咄し有之、午十二時御

戻りニ相成候事

## 一月廿一日 戌 曇天

、御主人様、八丁堀谷む正養殿宅謡・仕舞月次会ニ、午後より御出被成(św.)

候事

附前三時頃帰宅いたし候事依テ四谷尾張町広瀬御邸エ為見舞伝七幷鳶金蔵相越候事一、午後七時頃四ツ谷簟笥町辺出火ニ付、皇居近方ニ付砲発三ツ有之、

## |月廿二日 亥 曇天

、鈴木善三様御入来有之候事

一、四ツ谷辺出火ニ付勝蔵を以、市川・天野・谷末サマ三軒ェ見舞物相送

り候事

## 二月廿三日 子 天気

として相越候事処、御掛り鈴木殿繁忙之由ニテ用弁ニ不相成、夫より伏見町貸家見分一、東京裁判所民事課へ仁杉・伝七・小島市介、口供写しトシテ相越候

|月廿四日 丑 天気 後五時頃少々雨降ル

南暴風二付鳶人足四人相雇、 町内中竜吐水を以水上ケ申付候事(場)

大工吉兵衛相招き、伏見町貸長家修繕ノ取掛りニ付、積り書差出し候

### 二月廿五日 寅 曇天

伏見町貸長屋として大工吉兵衛及鳶金蔵見分ニ相越候事

梅若近右衛門殿エ明廿六日稽古ニ御越し被下候様、はかきを以申通し

家根屋蓑吉ェ郵便差出し候事

### 二月廿六日 卯 曇天

木むら忠蔵入来之事

堀井戸側積り書差出し候様、桶屋弥七へ相談候事

梅若近右衛門殿入来、 謡稽古有之候事

大阪山野町安藤甚九郎『杉皮注文書差出候事

広瀬公藩士市橋重総君よりはかきを以、 過日近火為挨拶状至来之事

### 一月廿七日 辰 曇天 日 曜日

川越店『勘米収納済『相成候哉幷米相庭取合旁、はかきを以差出し(タミク)

候事

鈴木善三様御入来、 見世若御主人様御面会被成候事

御主人様・秀次郎様・おまきさま、 深川八幡宮御参詣被成候事

仁杉氏より手紙を以 係り候事件ニ付出頭候様差紙至来ニ付、 明廿八日東京裁判民事課ヨリ、宮崎吉兵衛江相 何れ明日出頭、 戻り掛ケ罷出

候旨手紙を以申来候事( 荷 字)

### 二月廿八日 曇天 雨降ル 後二時頃より

、川越店より勘米之義ニ付、 郵便至来之事

駿河台南甲賀町渡辺殿より来状之事

横浜浦井竹窓殿より郵便至来之事

聞城寺へ本日釈道義信士様・妙顕信女様祥月御正当ニ付、御読経被下(成) 度旨、はかきを以申通候事

堀事より伏見町八番地一月分地代上納 ニ相越候事

### 三月一日 午

鈴木善三様御入来之事

仁杉英殿入来ニテ、宮崎吉兵衛より相係り候事件ニテ、昨廿八日東京 裁判所江代人相遣し候処、裁許言渡相成候旨御申越候事

大御主人様、午後仏教之義二付、 大工町まて御越しニ相成候事

### 三月二日 未 天気

一、藤江殿病気ニ付、 およしさま見舞ニ御越し被成候事

鈴木善三様御出張先第一国立銀行迄御手紙使二勝蔵相越候事

当町幷伏見町・片門前町一月分地代上納、 及堀事・伝七月賦上納候事

### 三月三日 申 曇天

薩摩守忠度ノ画守景筆掛物、 経師屋栄次郎方ェシク付直しニ勝蔵を

以遣し候事

釈貞信信女様御祥月明四日正当ニ付、 はかきを以御読経被下候様及

三月四日 酉 曇天 雪降ル後三時頃より

おまきさま、百島ェ琴ノ入門・西しま先生ェ絵ノ入門致し候、 およし

清水屋金七殿入来、 水指桶之代金持参候事

さま同道候事

大工吉兵衛より伏見町積り書差出し候事

堀井戸側損シ所より差水いたし候間、 牧はた打ニ井戸屋徳兵衛方よ(槙)

職方之者相越、 修繕致候事

### 三月五日 曇天

御主人樣、水天宮上御参詣上御出被成候事

梅若近右衛門殿、 謡稽古ニ御出ニ被成候事

片門前町加藤甚五郎より書入質ノ奥印願ニ、 差配人伊之介相越候事

謡本借用二八丁堀谷むら様エ孝吉相越候事

三月六日 亥 終日降ル午後八時頃より雪降ル

御主人様・御子様方二名、 但し午後七時頃、 車ニテ御戻りニ相成候事 蔵前能見物ニ御越し ニ相成候事

三月七日 子 午前十一時頃より晴ル朝之内曇天

駿河台甲賀町渡辺氏よりはかき至来之事

奥三郎兵衛殿より、追善茶事相催候間来ル十一日御出被成下候様、 廻

状至来之事

伏見町伊勢屋勇治家作買入、及営諸入費積り書見分之上、夫々治定(緯帳)

三月八日 ∄:

十二時頃より雪降ル

駿河台渡辺氏ェ御主人様・およしさま車ニテ御越被下候事(成)

治定致シ、 大工吉兵衛相越、 請負書調印いたし候事 伏見町貸長家及当町拾番地貸長家修繕積り書代金

平山金蔵殿入来、 御主人様御面会被成候事

大阪安藤甚九郎方より杉皮直書報、 はかきを以申来候事

### 三月九日 寅 天気

昨日より夜中工掛ケ降雪、今朝取片付ケ致候事、 為手伝鳶金蔵・勘太

駿河台渡辺氏御主人様・およしさま御出被成候事 郎、 左官惣吉・伊之助相越候事

宮崎吉兵衛代理小島市介相越、 御報及へく旨答ニ及候事 申来り、伝七答、右之義如何相成居哉、 当家に於て上告之思召に候哉、亦者返金被下候哉、両用御報伺上度旨 去月廿八日東京裁判判決ニ付而者、(所脱) 且テ不相心、何れ仁杉氏を以 (<sup>得脱)</sup> 御

東京裁判所より差紙を以、 右紙類及逓送賃上納、 宮崎吉兵衛外壱人より相係り候事件判決 明十日第九時出頭可致旨至来之事

## 三月十日 卯 曇天

- 一、伏見町八番地長屋修繕ニ付見分として、主人及伝七車ニテ相越候事
- 一、梅若近右衛門殿、謡稽古とシテ入来之事
- 一、乾先生入来、両御主人御面会之事

新川御隠居様御入来之事

より請書取置候事以御恵金ニ預度旨願出、依而金弐円恵遣候、伝七取次を以、右太郎吉一、およしさま縁者伊藤太郎吉殿、伝七方へ此程より活計方差支候旨を

附テ右受書ハ伝七よりおよしさま江御渡申上候事

## 三月十一日 辰 終日雨

- ニテ御出被成候事、御主人様、浅草橋場町奥別居ニテ亡宗喜老追善茶事招き当主ニ付、車

但し御出向跡江吉益正雄殿入来有之候事

- 、近江屋源介殿入来之事
- 一、当町拾壱番地貸長屋及伏見町八番地旧寺田買入家修繕、手始メニ大工

吉兵衛・鳶金蔵相越候事

先生ェ車ニ而御出被遊候事、午後第八時頃より御主人様・およしさま御同道ニ而、駿河台甲賀町乾

附雨天続に付、車夫弐人に而参候事

、同夜、仁杉英殿御入来、西洋菓子壱折到来、若御主人様幷伝七御面会

被遊候事

人被居候間御咄し有之候事附而午後第十一時頃、駿河台より御主人様御帰店ニ相成節、御同

三月十二日 巳 朝曇り、午前十一時頃より

- E(兼持N、TB或支事一、芝区役所H、伏見町八番地寺田勇治家屋買入H付区長奥印受取、若御一、芝区役所H、伏見町八番地寺田勇治家屋買入H付区長奥印受取、若御
- 主人様幷伝七罷越候事
- 一、第壱国立銀行鈴木善三様・安田善次郎様ェ孝吉手紙使ニ参候事
- 而致し候事、午前十一時頃より四番蔵掃除、勝蔵・鳶金蔵共ニおよしさま差図役ニ
- 一、竹むら先生入来之事
- 斗受取候事一、深川相川町木むら忠蔵方より、預ケ之内白米三俵送り来、此石壱石弐
- 渡し、若御主人様御立会ニ而無滞相済申候事円拾五銭一厘差引、残金三拾弐円三拾四銭九厘也、伝七より同人ェ相せ・持参、代金四拾弐円五十銭也相渡、証書金幷利束立替金共〆金拾一、芝区桜田伏見町八番地寺田勇治妻せん代理伊東利知、家屋売渡証み
- 、片門前町差配人中むら伊之吉方より郵便を以、来十四日兼而願上候

建物書入証之奥印願二罷出候間、 奥印被下度旨依頼有之候事

駿河台南甲賀町乾先生旅宿エおよしさま夕刻より御越、 十時頃御帰

ŋ

ニ相成候事

### 三月十三日 午

- 横浜浦井竹窓殿よりはかき至来致候事
- 古筆了仲殿・前田了伯殿入来、 御主人様御面会被成候事
- 伏見町貸長屋修繕ニ大工吉兵衛・鳶金蔵罷越候事
- 松浦宏殿、亡妻三十五日追福として折詰壱折送り来り、みせ・台所ェ

附御志之義有之、 五モクすし被下候事 も被下候事

- 多々良玄達様御入来、 御主人様・若御主人様御面会候事
- り幷入社見留簿持参、 壱番町共済千名社より、来ル廿日開社相成候趣、口上書ヲ以使之者参 調印致し遣し候事
- 若御主人様御不快二而御自身乗車、 竹むら先生ェ御出被遊候事
- およしさま、 駿河台乾先生へ車ニテ御出候事

### 三月十四日 未 南強風雨

- 片門前町地所内加藤甚五郎書入質奥印願、 念書持参ニテ入来候事
- 竹むら良庵殿、 秀次郎様御不快二付、 為見舞入来之事
- 駿河台乾先生へおよしさま車ニテ御出被成候事
- 明十五日乾先生入来、 之旨を以断候様口達候事 法営有之候間、 右係者・入来客之外、主人不在

### 三月十五日 申 午前天気 後より曇天

- 本日法会修行被成候二付、 住居内外清掃除いたし候事
- 水野忠敬公洋菓子壱折、 時候伺として口上書相添呈進候事
- 乾先生及御同行之衆五名御入来、午後十一時頃御帰りニ相成候事
- 鈴木善蔵様御入来、店ニテ伝七御面会申上、 即御引取二相成候事
- 奥三郎兵衛殿より郵便を以来状之事
- 早々引換候様はかきを以申遣候事 兼テ買預ケ置候白米、 過日木むらより送り来候分見本与者大違ニ付、

### 三月十六日 酉 天気

- 一、乾先生同行者矢野氏妻、 昨夜之礼ニ入来候事
- 地内須藤一郎より、昨年中妻娶取候節御祝被被下、右赤飯代りとして(荷字) はつ魚壱本為礼至来之事
- 川越店ェ、去月中 (米) 印正油送り来候分美味ニ出来候間、 業博覧会縦覧二出京候様、 郵便を以及文通候事 為賞第二勧
- 一、午後より、駿河台乾先生宅ェ御主人様及およし・若主人、 しニ相成候事 車ニテ御越
- 仁杉英殿入来、 両主人不在ニ付、 即御返りニ相成候事(帰)

### 三月十七日 戌 天気

- 聞城寺ェ一月より本月迄御祥月御経料金壱円・蠟燭・花料六拾六銭同行宇字桂子殿入来之事

勝蔵を以相納候事

# 浦井竹窓殿入来、およしさま御面会被成候事

およし殿、駿河台乾先生方へ入来之事

二月分活計帳取調済二付、 残金請取候事

御主人様・若御主人様幷伝七、 三相成、 午前 一時前二御帰宅之事 駿河台乾先生方ェ午後五時頃より御

### 三月十八日 亥

鈴木善三様御入来、 御主人様御面会被遊候事

川瀬石町拾番地貸家い印ェ土台修繕ニ相掛、大工吉兵衛、鳶金蔵 一勘

太郎参候事

木むら忠蔵方より白米弐俵 四斗弐升 入送り来候事

梅若近右衛門殿、 謡・舞稽古ニ御入来之事

乾先生、本日御発足ニ付為見送与、新橋ステンショウ迄両主人及伝七 罷越、夫より伏見町貸長屋修繕場エ見廻りニ相越候事

片門前町伊之吉相越、本月十六日ろ印貸長屋明ケ渡侯旨申出、 且い

ろ・は印長屋修繕被成下度旨申出候事

### 三月十九日 甲子

乾先生出立前兼而御依頼ニ付、本日勝蔵を以駿河台南甲賀町八番地 辺氏方迄御荷物受取相越、 夫より松平信正公ェ醤油壱樽持参候事 渡

午後一時前、 東京裁判所検事局より左之差紙至来

日本橋区

瀬石町拾壱番地 田中久右衛門

右来ル二十二日午前第九時当局へ可罷出候也

明治十四年三月十九日

東京裁判所検事局

、右差紙至来に付、 件二者有之間敷、 即両主人、仁杉氏工持参云々取合候処、 久平治事

余之件之由被申聞候事

但し伝七も参上仕候

浦井竹窓殿入来之事

乾先生荷物、 陸運会社工差立候事

附テ名宛 石川県下能登国羽咋郡一ノ宮駅

川越店より郵便、 博覧会縦覧免状礼至来之事

乾満昭殿ト認メ候事

駿河台南甲賀町渡辺サマより郵便到来之事

### 三月廿日 ∄: 天気

浅草蔵前能・狂言見物ニ両御主人様御出被成候事

築地西岡様御舎弟入来、 過日姉義御厄介ニ相成候旨ニテ御礼ニ入来

之事

駿河台渡辺サマはかき差出し候事 (HR)

### 三月廿一日 寅 終日雨

梅若近右衛門殿、 謡 舞稽古入来之事

御主人様、八丁堀谷むら正養殿月次謡会ニ御出被成候事

附テ午後九時頃より車を以勝蔵御迎ニ相越、 十時頃御帰りニ 相成

候事

### 三月廿二日 卯 九時より少々晴ル朝之内雨

東京御裁判所検事局、 付、伝七代人として罷出候処、久平治殿小児とく与申者戸籍ノ上件御 明廿三日尚出頭被申付候事 

## 三月廿三日 辰

後七時頃より雨

御彼岸ニ付、 為非時五もくすし出来候、依テ憐家及店中被下候事(際)

東京裁判所検事局へ久平次子女之義に付書面持参、主人出頭致、後二

時頃戻り候事

附テ御腰掛まて伝七相越候事

乾先生同行ノ方々、渡辺御両人・西岡御両人・矢野氏・宮内氏外壱人 合七人入来、後六時半頃御帰りニ相成候事

仁杉英殿、 後八時頃より御入来有之候事

### 三月廿四日 巳 天気

伏見町貸長家修繕出来候二付、 勝蔵及鳶金造為掃除相越候事

多々良玄達様より御薬壱包、 荷物配達ヲ以送り来候事

第壱国立銀行より書状到来、 受取差出候事

伏見町・芝片門前六番地抱地所貸長家見分として、御主人様幷伝七御(町脱)

同道ニ而御出張ニ相成候事

### 三月廿五日 天気 雲出ル午十二時頃

昨廿四日、泉州嘉祥寺むら奥三郎兵衛殿方江郵便差出候事

伏見町貸長家、過日修繕請負大工吉兵衛工申付候処、所々修繕洩有之

候間申談シ候事

植木屋金太郎来ル三十日坤ノ方垣根修繕ニ取掛候様申遣候事値木屋金太郎来ル三十日坤ノ方垣根修繕ニ取掛候様申遣候事

### 三月廿六日 未 天気

家根造ヒ安蔵へ申付ケ、壁壱坪半左官孫兵衛へ申付候事(繕)当町拾弐番地い印貸長屋修繕出来之旨、大工吉兵衛より届出候、

芝区片門前町六番地貸長家修繕致し候ニ付、下見分として伝七・鳶金

\_ 浦井竹窓殿・清水屋金七殿入来、 御主人様御面会之事

蔵罷越候事

竹村良庵殿、 為見舞入来之事

久代吉十郎様御入来之事

今般本材木町壱丁目弐拾番地差配人毛賀沢権右衛門、 孝吉ヲ以順勤

度旨以書面願出候事

堀井戸釣瓶櫓、 桶屋弥七取外シ見分有之候事

### 三月廿七日 庚申

一、本所亀沢町壱丁目梅若近右衛門殿御子息入来之事

桶屋弥七ョ井戸側木品見分被下度旨申出, 依テ御主人及伝七見分ニ

相越候事

成瀬先生御入来有之候事

但し夜二入、車ニテ御送り申上候事

秀次郎公、成瀬先生へ稽古二御出被成候事

## 三月廿八日

浦井竹窓殿よりはかき至来之事

梅若近右衛門殿入来、 御主人様・秀次郎様謡・舞稽古被成候事

### 三月廿九日 戌

候事 伏見町貸長家営繕出来に付為見分、 午後より御主人幷供旁伝七相 越

水野家土方教殿御入来、 両御主人御面会被成候事

# 井戸屋徳兵衛井戸伏替之義ニ付はかき差出し候事

### 三月三十日 亥

平山金蔵殿入来、 御主人御面会被成候事

奥三郎兵衛殿代又吉入来、 両御主人御面会被成候事

茅場町松田御家内入来之事

渋屋竹次郎相越シ、庇シ蔵杮葺庇シ木樋、 薬研堀エチヤン流出来候事

植 木屋金太郎相越、 坤之方垣根竹新き注文いたし候事

### 三月三十一日 甲子 天気

清水屋金七殿入来之事

奥三郎兵衛殿代又吉入来、 両御主人様御面会被成候事

本日吉日ニ付、坤方所々営繕いたし候、 依テ大工壱人・左官手伝とも

人·植木屋壱人相越候事

芝片門前町貸長家修繕、 大工壱人・鳶金蔵相越シ

去ル廿六日伝七より書面を以、本材木石町弐拾番地差配順勤願出候

願之通聞済遣シ、 依テ譲請金同人勤功之廉を以立会之上相遣

同人請書差出シ候事

多々良御隠居御入来之事

水野忠敬公御邸御主人様車ニテ御越シ被成候事

吉日ニ付、 芝神明・三田・春日・鴈森社江御清砂請ニ秀次郎公御出被

成候事

### 四月一日 ∄:

昨夜十時頃駿河台甲賀町辺出火ニ付、 渡辺幷大河内様御見舞に伝七

勝蔵相越候処、 焼失跡二付引取候事

今朝尚亦為見舞、 若主人及伝七御見舞二相越候事

清水屋金七殿入来之事

植木屋金太郎相越、坤ノ方庭手入致候事

堀津長右衛門より手紙を以、雲州御好方小判形のし台拝借仕度旨依

頼、 依テ若者ニ相越シ当家為写候事

当町内本年分芥代金拾三円ヲ旧小間ニ割、 差配人店ニテ割合致候事

### 四月二日 寅 曇天

旧重原藩関野清市殿御入来、 御主人様御面会被成候事

梅若近右衛門殿入来、 謡·舞稽古有之候事

但し松田家内入来之事

片門前町、

一昨夜、 新銭座辺出火有之候に付、細谷資重殿口上書を以御見舞申上叩、大工・鳶方より繕ヒ落成之旨届出候事

### 四月三日 卯 天気 但 昨夜より今朝へ

細谷資重殿よりはかきを以、 火事見舞ノ請書至来之事

当町内本年分芥代金拾三円、 分拾三間七分弐厘、 此代金壱円三拾七銭弐厘、 旧聞小間に割、 小間ニ付拾銭ツヽ、当店 孝吉より昨日相納候ニ

付、 改テ同人江相遣し候事

岡田彬殿、 出火之節ハ早速御見舞被下候旨ニテ礼ニ御越候事

竹むら良庵殿入来之事

但し酒料供の者江遣ス

口達有之候に付、 .達有之候ニ付、右之段差配孝吉達し候事 -銭与改正、店敷金( Ξ円之処 ) 金五円与改正候旨、御主人様より御

芝片門前町差配人伊之助相越、赤土ハ麻布仙台坂ヨリ店まて壱車代 金七十銭之由態々申来候、 依テ壱車分依頼候事

伏見町貸長家壁、 中塗出来之旨申出候事

### 1月四日 辰 曇天

四 午後より晴ル

本日御主人様御誕生日二付、

御祝膳幷焼物料店中工被下候事

梅若近右衛門殿入来、 終日謡稽古在之候、 夜二入番口相立、 謡 こん催シ

片門前町家主伊之助より赤土壱車送り来、代金七十銭相渡遣し候事

有之候事

器陶壱ツ・茶碗五ツ、矢石重五郎殿へ茶碗五ツ、、 (歯器) (〈殿) (〈殿) 矢石重五郎殿へ茶碗五ツ、夫より本所駒止橋松 渡辺勤へ手桶壱ツ・

> 平信正公御隠居様昨夜浅草茅町出火ニ付御見舞申上、(HRE) 兵衛殿へも右孝吉相越候事 松浦宏·紙屋弥

### 四月五日 巳 曇天

御主人様、 水天宮ェ御参詣ニ御出被成候事

昨日、 片門前町貸長家屋根瓦葺及造ヒ壁、 日ニテ惣出来之事

但左官土浚時まし申出候事

浅草森田町共済壱銭社江入社致候旨、 郵便を以申遣候事

熊の炭預ケ置候分早々御送り被下候様、 はかきを以申遣し候事

### 四月六日 午 雨 天

堀井戸修繕に付、 東京府へ御届仕候処、 御指金無之候ニ付、 尚亦本日

伺ニ罷出候事

### 四月七日 未 天気

東京府より堀井戸修繕御指金書郵便を以至来、 依テ右指金書写シ相

\_ 堀井戸側三ヶ輪成落之旨、桶屋弥七より申出、添、坂本町警察所江御届ケいたし候事 御主人様御見分相済

鈴木善三様御出張先第一国立銀行工若御主人及伝七罷出候事

候事

水野忠敬公御邸工若御主人幷伝七相越、 御家令土方教殿御面会有之

候事

井戸屋徳兵衛相越、 明八日堀井戸へ相懸り侯旨届出侯事

## 四月八日

堀井戸側伏替ニ付、井戸屋徳兵衛より職方之者七人幷徳兵衛相越候事

渡辺勤殿入来、火災之節の礼ニ相越候事

おまきさま・およしさま、 新川へ御越しニ相成候事

霊厳しま鹿しまよりはかきを以、 横田老母本日浅草より御同家へ御

越しニ相成候旨、

御案内有之候事

### 四月九日 天気 夜ニ入雨降ル

堀井戸側伏換出来、 土埋メ候上、堀井戸水カイ掃除念入いたし候事

横田御老母様幷五郎兵衛殿妻君・おかのさま、 附テ鹿しま御隠居・多々良御隠居御出候事 御越しニ相成候事

## 四月十日

蔵前能・狂言見物トシテ、両御主人様・秀次郎様車ニテ御出被成候事

荒木新兵衛より月賦金弐円五十銭孝吉受取候事

### 四月十一日 亥 時々小雨降ル曇天

梅若近右衛門殿入来、 鹿しま御隠居・水野家土方様外壱人追々入来、 横田御老母様・御内令おかのさま・喜平殿娘・ 謡・舞御催シ有之候事

勝蔵不快に付、 竹むら先生より服薬申請候事

### 四月十二日 子

清水屋金七殿入来之事

堀井戸側入レ替跡、地形鳶相掛り候処土ウミ居候故、万年下水其外浚

方致候事

伏見町差配人堀事殿入来、 貸長屋家賃高価ニ付、 借用人無之旨申出

但し貸長家ろ印二階雨戸、此程風破ニ付損シ候間、 下度旨申出候事 至急御出来被

桶屋弥七より堀井戸化粧側・釣瓶櫓工数書差出し候事

### 四月十三日 丑: 曇天

秀次郎君、上野大黒天・根津権現・忍の池弁財天御清砂申請(示脱) 御越候事 ニ車ニテ

御主人・若主人・おまきさま・およしさま、 ニ車ニテ御出被成候事 上野及根津権現へ桜見物

### 四月十四日 寅 十時頃より晴ル朝之内少々雨

伏見町貸長屋見分として孝吉相越候事

横田御老母様・おかのさま・新川御隠居さま、 御出被成候事

門屋・俵屋即刻手紙差出し候事横須賀俵屋忠兵衛殿より、長門日 長門屋重太郎殿之義 ニ付郵便至来、 、依テ長

四ツ谷松平直巳様より、 為御挨拶五十銭ツヽ御送り被下候事 過日出火之節伝七・金蔵御見舞ニ差上候ニ

桶屋弥七より、 堀井戸化粧側鉄輪弐本足シ鉄致出来之旨申出候事

但し直し代金弐円之旨申出候に付、 余り高価ニ付、 弥七ニ罷出候

様申談シ候事

## 四月十五日 卯 天気

- 、表神保町渡辺より郵便至来之事
- 一、明治十四年上半年戸数税金七円七十弐銭、区役所へ相納メ候事

但使孝吉

枚損シ有之候間寸法扣、相戻り候事一、昨十四日、伏見町貸長家為見分孝吉相越、ろ・は印長屋二階窓雨戸二

、宇治桂子殿入来之事

一、堀井戸側・釣瓶櫓代金、不残桶屋弥七江相渡候事

四月十六日 辰 天気 曇天

着いたし候事一、川越横田徳三郎殿より、御同人御母公江第三国立銀行為換金十円到

一、横田御母公さま外御三名御入来之事

、安田善次郎殿方江両御主人車ニテ御出被成候事

、堀井戸亀甲地形水返シ石築立、下水樋出来、埋メ根太埋メ候事

但石工勘兵衛・大工直吉・鳶金蔵相越ス

## 四月十七日 巳 終日雨

- 一、久代吉十郎殿入来、御主人様御面会、御酒宴有之候事
- 、梅若近右衛門殿夜二入来之事
- 夜具蒲団借用致度旨申越候事一、新川御隠居さまより手紙ニテ、明十八日川越徳三郎殿夫婦出京ニ付、

## 四月十八日 午 天気

- 、堀井戸亀甲張ニ大工吉兵衛へ相越候事、手伝金蔵相勤候事、堀井戸亀甲張ニ大工吉兵衛へ相越候事、手伝金蔵相勤候事
- かき遣し候事一、右流シ出来に付、井戸屋徳兵衛方江明十九日水替人足相廻し候様、は
- 一、堀井化粧ヶ輪へ生渋塗ニ渋屋竹次郎相越候事
- 近江屋源介殿入来之事
- 、喜多むら利兵衛方より大束焚木百束送り来候、右之内拾束伝七譲り、

遣候事

午後八時頃、桜田久保町辺出火ニ付、抱地所伝七・幸吉・鳶金蔵相越((歳)

候事

## 四月十九日 未 天気

一、浦井竹窓殿入来、昨夜出火之際ハ早速御見舞被下候段、礼御出被成

候事

- 一、午後四時頃より、安田善次郎方へ両御主人様車ニテ御越しニ相成候事
- 、植木屋金太郎相越、庭向掃除出来候事
- 一、昨夜伏見町出火に付、鳶・左官・家根屋駆付候に付、為手当夫々遣し

候事

## 四月廿日 申 天気

- 一、梅若近右衛門殿入来之事
- 、堀井戸水替ニ徳兵衛出方七人相越候事

Ш 、越横田老母幷五郎兵衛殿妻君・徳三郎殿夫婦・おかのとの・徳三郎

殿小児・下女壱人入来之事

附テ徳三郎殿妻新客ニ付、厨斗酒肴差出シ、 昼仕度差出候事

竹むら良庵殿、為見舞入来之事

### 四月廿一日 酉 後より雨降ル午前曇天

松平信正公家令岸田躔殿御入来之事

梅若近右衛門、謡稽古入来之事

横田徳三郎殿入来之事

川越横田五郎兵衛様より郵便到来、則赤穂塩百俵 ノ件ニ付、 御両人様

江御相談之上報書即差出幷醬油注文差出候事

石川県下能登国羽咋郡一ノ宮駅乾先生へ郵便差出し候事

### 四月廿二日 戌

横田徳三郎殿一行御出被成候事

松平信正公家令岸田躔殿、暦壱冊使を以御送りニ相成候事

竹むら良庵殿、 為見舞入来之事

泉州嘉祥寺村奥三郎兵衛殿より、 去ル十八日出ノ郵便到来致候事

四月廿三日 亥 天気 十二時頃晴ル後六時頃より雨降ル

百島氏追善発会に付、 新富町近源亭へおまきさま御出被成候事

供竹女相越候

月次集会日ニ付、 粕谷鍵次郎殿・野 口里江・矢野ゆか・渡辺むらとの

入来之事

午後六時三十分頃、百島追善会へ両御主人・秀次郎様車ニテ御出被

成、 十二時頃御帰りニ相成候事

横田徳三郎殿より焼鯛壱枚・海老壱ツ至来之事

川越店へ消炭拾五俵注文状差出し候事

### 四月廿四日 天気

蔵前梅若稽古能見物ニ御主人様・秀次郎サマ、車ニテ御越ニ被成候事

松平信正公本所元町御邸ョリ醤油御注文状至来ニ付、船間之旨を以報

書差出候事

安田善次郎殿より郵便至来之事

日本橋区役所より、明廿五日久平治二女とく入籍之件に付、 第九時出

頭候様達書至来之事

午後七時頃より本所松坂町松浦宏殿ェ車ニテ御越しニ相成、十一 時頃

御帰りニ相成候事

昨廿四日区役所より招換状ニ付、 (A) 四月廿五日 丑 天気 より、 ニ者請書差出シ候様達有之候事 入籍致ニ付而者、戸主故右之段御達シ申候、依テ戸主より加籍承諾 久右衛門殿ヨリ始末書・久平次ノ始末書公判ニテ無罪与成、 家族久平次二女とく落籍により久平次東京裁判所江自首及、 本日伝七罷出候処、戸籍課山本氏 然ル上

横田徳三郎殿入来、 昼飯差出し候事

午後より松平信正公御邸江御主人御越シ有之、夜九時頃御帰りニ相成

# 四月廿六日 寅 天気 廿七日前六時頃晴ル

以、本所松浦宏殿方へ孝吉取合ニ相越候事一、松平信正公、飯田町辺江新規御屋鋪御買入ニ相成候ニ付、右絵図面を

一、横田御老母・新川御隠居・おかのさま・徳三郎殿女子幷乳母入来之事

換券ニテ送り来、依テ伝七第三江相越金円受取、若御主人江相納メ申(費)、川越店より書留郵便を以、塩代金五拾八円九十一銭五厘第三銀行為

、右為換金受取済之旨、郵便を以即川越店へ状差出し候事(薏)

## 四月廿七日 卯 天気

、松平信正公家令岸田躔殿方ェ手紙を以幸吉御使ニ相越候事

| 勝蔵義、歯痛宜敷候間、本日より□薬相用ヒ候事

昨廿六日、片門前町差配人伊之介より左ノはかき至来

候旨申来候、に印長家二階壁半坪程抜落候旨通知在之候候事(祈字) (祈字) は号へ遷候者町田已之助与申者敷移

# 四月廿八日 辰 雨 廿九日暁まて吹

、前田了伯殿入来、即御帰りニ相成候事

、川越店よりはかきを以、米壱斗壱升かへ之旨申し来候事

但し片門前町貸長屋に印二階壁壱坪抜落有之候、午後より桜田伏見町貸長家・片門前町貸長家為見分、伝七相越候事

活計区分帳足し紙綴直しニ付、帳屋恒次郎入来、綴直しいたした

# 四月廿九日 巳 後二時頃より晴ル

、梅若近右衛門殿入来、謡稽古有之候事

一、東京裁判所糺問掛より、明三十日可罷出旨、御召換状至来致候、

(メカ) (メカ) 仁杉氏ェ伝七罷越、即御同人御入来、夫より謡御催シ有之候事

候ハヽ売捌候様申通シ候事一、川越店ェ勘米急々積送り候様郵便を以申遣、且両ニ壱斗五合位ニテ捌ー、川越店ェ勘

、植木屋金太郎明三十日相越候様申通し候事 (H殿)

## 四月三十日 午 天気

一、東京御裁判所糺問掛江本日伝七出頭候処、久平治吟味願言渡件有之

候、詳細ハ別帳に有之候事

一、御主人様・よしとの、千住氷川へ車ニテ御越しニ相成候事

、鈴木善三様御入来、みせニテ若主人御面会被成候事

、鈴木善三様・久代吉十郎様江郵便差出し候事

一、山本智定殿、御釜注連として御入来、為初穂白米壱升・金六銭三厘呈

進候事

一、川越店より醤油〈米〉七樽・消炭五俵送り来候事

## 五月一日 未 天気

頃御帰りニ相成候事一、今朝御主人様・およしとの、千住氷川へ車ニテ御越しニ相成、後一

時

一、鈴木善三様御出被成、御主人様御面会被成候事

一、片門前町伊之吉・伏見町堀より、三月分地代納メニ相越候事

## 五月二日 申 曇天

一、久代吉十郎様御入来、御主人様御面会有之候事

達之旨ニテ、受付役柳沢殿より御達有之候事高洲殿御出勤無之候ニ付、合掛り金子殿より両三日之内罷出候様御一、東京裁判所糾問掛りェ証拠物四通受取とシテ、伝七罷出候処、右掛り

、水野忠敬公御尊来有之、御主人御面会之上、御酒宴有之候事

## 五月三日 酉 曇天

、古筆了仲殿入来、御主人御面会被成候事

、五月幟・弓・鉄鎗・人形、座敷相飾り候事

、午已後より深川西しま先生へ御主人様御越シ被成候事

、井戸職徳兵衛へ、堀井戸水之義ニ付用向有之候間、はかき差出申候事

一、古化粧ヶ輪桶屋熊七方江相渡、水替桶三ツ・釣瓶二ツ注文ニおよひ

## 五月四日 戌 曇天

、檜物町野むら稲造殿手紙到来之事

、御主人様、野むら方へ御出被成候事

、植木屋金太郎方へ郵便差出し候事

五月五日 亥 曇天

一、御主人様、水天宮へ御参詣ニ御越し被成候事

、松平信正公家令岸田躔様御入来、御主人御面会被成候事

、梅若近右衛門殿幷子息同道ニテ、謡稽古終日有之候事

鈴木善三様御出張先第一国立銀行へ手紙使ニ伝七相越候事

、横田徳三郎殿、佐倉表より本日立戻り候旨ニテ御入来之事

. 区役所戸籍課ヨリ、明六日義ニ付出頭候様達書至来之事

## **五月六日** 子 頻々雨

弁済候事相越シ、宮崎ヨリ相係り候判決ニ付、口供写シニ相廻り、後二時過用一、東京裁判所糺問掛りェ証券拠物四通受取ニ伝七相越、夫より民事課エ

(次2) (次2) 一、区役所江久平次小児加籍之義ニ付、孝吉罷出用弁候東

一、横田御老母一行御出有之、夕飯差出シ候事一、川越店より勘米之義ニ付、又造ヨリ来状有之候事

一、深川相川町木村忠蔵より白米云々取合ニ相越候事

## **五月七日** 丑 終南強風雨

、昨六日、鈴木善三様御入来之事

一、横田徳三郎殿入来之事

一、能州一ノ宮駅乾先生より郵便到来之事

附テ一行之衆江来翰及廻章差出シ候事

、松平信正公御内岸田君工御手紙遣二鳶金蔵相越候事

一、本日勝蔵病気快に付、入湯之上出勤致候事

### 五月八日 寅

成候事 浅草御蔵前梅若稽古能『両御主人及秀次郎サマ、 御見物ニ御越しニ相

西島先生へ鰈九ツ、 送り候事 横田御老母一行へ鰈十一、進物として勝蔵を以相

植木屋金太郎・経師栄次郎、 明九日無相違相越シ候様、 勝蔵を以申遣

### 五月九日 卯

植木屋金太郎・経師屋栄次郎相越し 候事

松平信正公家令岸田躔殿御入来之事

平川天神・四ツ谷天王・日枝神社へ吉方ニ付、御砂取としてよし相(河) (殿郎) 越

付テ岩倉邸内野口氏へ御廻り被成候事

円々診聞より、弐百〇六号より司三上ュ・(団々珍) 深川相川町木むらより米四入三俵持参候事 弐百〇六号より同三十五号迄〆三十部 ノ代価受取

御主人、岸田躔殿与御同道ニテ、松平信正公邸まて御出被成候事

相

越

受取引替金壱円弐十銭相渡候事

桂川甫肝殿御入来之事

よし殿・まきさま、 車ニテ亀井戸へ遊歩ニ御出被成候事(統字)

### 五月十日 天気

よし殿・まきさま、根津躅じ見物ニ車ニテ御出被成候事横田御老母様・徳三郎殿御入来之事

当町内下水浚、是迄鳶金蔵浚方致来候処入費相嵩候より、 議之上右之者江申付テ、 田むら農民より小間に付壱銭八厘ツトニテ根浚致候旨申出候に付、 十銭ヲ六番地より拾五番地まてニテ相遣し候事ニ決定候事 依而者鳶金蔵へ者下水浚中為見廻り、手当三(就) 小松川下鎌 集

片門前町・ 伏見町地所月次為見舞、 伝七相越候事

### 五月十一日 巳 天気 大南風年後より

御主人様、 松平信正公御邸工家相之義二付御出被成候事

近江屋源介殿入来之事

旧乳母きみ相越、 近日八王子辺ェ引移候旨申出

御主人様・若御主人様・秀次郎様、 亀井戸へ藤見物に車にテ御出被

御供伝七相越し申候事

梅若近右衛門殿、 謡本内外百六拾冊御持参被下候事

午後六時頃より仁杉英殿御入来、 来二付御謡在之候事 事件御相談有之候、 谷むら様御入

## 五月十二日

横田徳三郎殿御入来、 明十三日出足致候旨ニテ暇乞相越候事

横田五郎兵殿御入来之事

氷川神社神職エ郵便差出し候事

旧商店四月分売掛金、 本日相納メ申候事

昨十一日鈴木善三様御入来、 主人不在ニ付、 よし御面会申上候事

## 五月十三日 未 天気

一、太田資竜様御入来に付、伝七御面会申上、公債証書利束小札御渡申上(息)

候事

一、両御主人、千住氷川社江車ニテ御越しニ相成候事

一、下女たけ、昨十二日亡父法営之旨ニテ御日間頂戴致し、本日前十時頃

帰店候事

一、地所内秋元惣吉方ニテ小児出産候ニ付、金弐十五銭祝し遣し候事

一、横田御老母さま一行御出被成、昼飯差出候事

一、近江屋源助殿入来之事

## **五月十四日** 申 天気

、松平信正公家令岸田躔様郵便到来之事(より脱)

、梅若近右衛門殿入来、謡稽古終日有之候事

、水野忠敬公家令土方教殿御入来之事

、仁杉英殿御入来、御主人様御面会被成候事

## 五月十五日 酉 曇天

但し若主人・秀次郎様御同道之事一、芝山内紅葉館観世清孝催シ能・狂言見物、御主人様御出被成候事

一、西之方板塀朽損シ候に付、営繕として大工吉五郎・直次郎相越候事

一、横田御老母御一行御出被成、昼飯差出し候事

## 五月十六日 戌 天気

、松平信正公御邸御引移二付、為御手伝勝蔵相越候事

一、御主人様・秀次郎様、御同家江午後より御越しニ相越見

、鈴木善三様御入来、御主人様御面会被成候事

、川越横田徳三郎殿より郵便到来之事

、共済千名社より社員弐名死亡候ニ付、後備掛金受取ニ相越候事

、木村忠蔵より尾州半田白米両ニ八升五合見本持参候事

根岸成瀬先生、後七時頃御入来、即御帰りニ相成候事

## 五月十七日 亥 天気

(メモト) (メモト) (メモト) (メモト)) (メモト)) お平信正公御引移に付、為御手伝孝吉・勝蔵・鳶金蔵相越シ候事

より右買入、御主人様・若御主人様、御祝義旁御出被成候事一、御同家為御祝として天鵞絨織敷物献上被成候ニ付、八官町小埼守方

吉日ニ付、西之方吉方ニ付、庭入口板塀手入致候事

# 五月十八日 子 天気 午後南風吹

まき様幷金蔵被成候事一、梅若近右衛門殿入来、謡稽古、御主人様・若御主人様・秀次郎様・お

一、八丁堀谷村様ェ矢石重五郎殿順会ニ付目録持参、勝蔵御使ニ参候事

一、稲荷蔵前庭植込かし・木ブトウ・建仁寺垣等手入、植木屋金太郎参

門殿ノ謡稽古被致候事一、本所松坂町弐丁目松浦宏殿入来、御主人様御面会ニ相成、梅若近右衛

、川越横田五郎兵衛様御入来、直ニ御帰り相成候事

## **五月十九日** 巳 天気 南風吹

- 一、井戸屋徳兵衛弟、勘定受取ニ参り候事
- 京中ハ種々御勢話ニ相成候御礼ニ御越シ在之候事一、横田五郎兵衛サマ・御老母さま・おかのさま、明廿日御出立ニ付、滞
- 一、午後五時頃より御主人様、水野忠敬公御邸江御出被成候事
- かき遣し候事一、およしさま御不快に付、竹むら良庵殿ェ明早朝に御見舞被下候様、は

## 五月廿日 寅 天気 西南強風

- 一、およしさま御不快ニ付、岩瀬針医及竹むら良庵殿入来之事
- 木むら忠蔵方へ白米見本早々送り候様はかき遣し候事一、綿屋長兵衛方へ桜炭三拾弐俵預置候分持参候様はかき遣し幷相川町
- 一、伏見町差配人堀事方へ貸長屋貸人無之候に付、家賃何程位ナレハ借

用人有之候哉、

実際之処早々申出候様郵便差出し候事

を以引取申候、且焚木五束御送り申上候事一、新川鹿島御隠居方より、蒲団夜具横田家御逗留中御用意候分、勝蔵

## 五月廿一日 卯 天気

- 日報書到来致候事一、伏見町堀事殿より貸長屋宿賃之義ニ付、昨日取合状差出し候処、本
- 竜ヶ崎 八升六合、本石白 九升六合、右四品持参候事常 州 八升六合、奥 州 九升六合、右四品持参候事、相川町木むら忠蔵殿より、白米尾州 八升六合、勢 州 八升五合、
- 相成旨、御答有之旨ニテ引取候事一、鈴木善助様エ白米見本米、孝吉ヲ取合遣し候処、両三日之内水揚ケニ
- 、水野忠敬公家令土方教殿御入来、御主人御面会被成候事

弓気田兼吉与申者相越、伝七面会致し候事、浅草山谷町弐拾弐番地伊籐太郎吉病気ニ付、同人手紙持参ニテ同長屋

# 五月廿二日 辰 天気 年後より

- ・ 昨夕仁杉氏より、伝七ニ入来致呉候様申通シ有之候ニ付、同人ヲ罷出
- 修事
- 御主人様、蔵前能見物ニ御出被成候事
- 、若御主人様・秀次郎様、成瀬先生発会ニ付車ニテ御越し被成候事
- ヘニテ買入候旨、郵便を以申遣し候事一、木むら忠蔵殿より昨日見本遣し候勢州一志郡白米、両ニ八升五合か
- 、井戸職徳兵衛より浚人足費受取ニ罷出候事

## 五月廿三日 巳 曇天

- ハ、松井町一丁目宿江本日より三日之間御日間被下置候ニ付、今朝下一、昨廿二日川越店又造・定吉、博覧会縦覧として出京致候、附テ定吉義
- 例月之通、乾先生同行之衆御出被成候事宿へ相越候事
- より芝片門前町地面江見廻りニ相越候事一、伏見町地所貸長屋宿賃取極之上、差配人堀事方江勝蔵を以申遣シ、夫
- 、能州乾先生より郵便到来之事

## 五月廿四日 午 終日雨

、昨夜、仁杉英殿入来之事

鈴木善助様御出張先第一銀行へ勝蔵を以手紙差上候後、 (۱1) 御同人様御

入来、御主人様御面会被成候事

仁杉英殿方へ若主人弁伝七相越候事

梅若近右衛門殿・松浦宏殿方へ、明廿五日差支候間、 是ヨリ可申上旨、 はかきを以申入候事 追テ日限之義ハ

### 五月廿五日 未

松平信正公御家令岸田躔様御入来有之候事

梅若近右衛門殿御入来有之、 終日謡浚有之候事

綿屋長兵衛殿より預ケ置候桜炭三拾弐俵送り来候事

岩倉公及矢野氏 へ醤油壱樽ツヽ、 勝蔵を以相送り候事

植木屋金太郎方へ、庭諸木生茂り候ニ付早々手入可致様、 はかきを以

## 五月廿六日

浅草山谷町伊藤太郎吉殿、伝七宅救助金願ニ相越候事、金五円希候処、

万世橋租税局出張所江壱円印紙六枚申請二勝蔵罷越候事

金壱円遣ス

鳶金蔵妹死去候二付為香奠五拾銭、 及金蔵近来館入申付候より別格

出精ニ付、

為別段五十銭遣之

鈴木善三様御出張先第一国立銀行若御主人御越しニ相成候処、 (江脱)

勤無之、依テ御同人様御宅まて御出被成候事

木村忠蔵方より白米五俵、 升五合、 円二八升五合かへ、 壱俵ニ付三斗九升七合かへ、此石壱石九斗 右落手致候事

> 孝吉義、 風邪ニ付本日出勤無之候事

### 五月廿七日 曇天

松平信正公家令岸田躔殿より醤油壱樽注文、はかき到来之事

川越店亦造・定吉、博覧会縦覧済ニ付本日出足致候事

当町拾・十一・拾弐番地三ヶ所地所及家屋とも、 六千円ニ書入ニ致シ、区役所奥印申請候、 依テ平岡より金額・証書引 本日平岡準蔵殿へ金

換ニ致シ、諸事相済候事

本件ハ地券状差支有之候ニ付、 明日エ延し

水野忠敬公家令土方教殿より御手紙到来之事

## 五月廿八日

、土方教殿方江鳶金蔵を以手紙相送り候事

区役所へ昨日之通り奥印請ニ、若主人・伝七及平岡代準蔵相越候処、(マシ 出頭候様達に付、 地所書入之奥印相済、家屋奥印租税課ニテ調不相届候間 無余義引取候事 明後卅日尚

附テ金額取引平岡代阪本柳左受取候也

(より脱) 加工人様、松平信正公工御礼に参館被成候事

新宿多々良氏物品配達を以、 薬壱包到来いたし候

### 五月廿九日 亥

御出

細谷資重様御入来、 御主人御面会被成候事

植木屋金太郎入来之事

平岡準蔵殿代阪本柳左殿方工若御主人様御出被成候事

川越店徳三郎殿より、博覧会縦覧店各員へ申付ニ付而者、 一拾銭相遣候旨書面を以達し候処、右請書到来いたし候事 通券・弁当

### 五月三十日 子 天気 雷気有之、雨降ル午後三時頃より

区役所江拾番・拾壱番地家作建物証印願ニ罷出、 証印済之上、平岡準

吉方御砂取として、秀次郎公車ニテ御越被成候事

蔵殿より金円請取候事

- 竹むら良庵殿、為見舞入来之事
- 古筆了仲殿入来之事

成瀬先生御入来之事

松浦宏殿より正油注文、はかきニテ到来之事(醬)

### 五月三十一日 丑:

諸向エ買掛り代金仕払いたし候事

女湯、 町内ェ女中計入湯之旨談シ、 留銭談判二及候候事(衍字)

### 六月一日 寅 天気

鉄砲洲丸屋長左衛門方工伝七罷越、 紀州熊野・備浅八十俵、両ニ弐〇

かヘニテ買入約定取極候事

松平信正公御尊来、 御主人御拝謁之上、 酒肴差出し候事

### 六月二日 卯 天気 午前曇天

梅若近右衛門殿入来、 午前帰宅致候事

両御主人様幷秀次郎様、聞城寺へ仏参へ御越被成候事(成)

但し車ニテ御越シ候事

川越横田五郎兵衛殿より郵便到来之事

一、若主人誕生ニ付御祝ヒ有之、 (F)脱) **六月三日** 辰 天気 店中へ祝膳被下候事

- 梅若近右衛門殿、 謡稽古有之候事
- 川越店より〈米〉七樽・ミそ壱樽到着致候事

### 六月四日 巳 天気

西島先生御入来、御酒妾有之候事松平信正公ェ(米) 弐樽相送り候事

須賀祭礼・続テ日枝神社大祭ニ付、町内鳶金蔵提灯張替之義申来り、

夜二入、西河岸町地蔵菩薩縁日二付、 参詣ニ御越しニ相成、 御供金蔵相越候事 両御主人・秀次郎・まきさま

依テ挑灯弐ツ相渡遣し候事

### 六月五日 午

村松町三拾七番地平岡準蔵殿清魚壱籠相送り候事 使勝蔵

当町月番差配人より、日枝社及須賀社祭典に付、 神輿巡行入費奉納申

来に付、例年通り寄附いたし候事

明六日、 読経被下候様申通し候事 釈妙薫信女様御祥月正当ニ付、 . 聞(成) 寺 へはかきを以、 例之通

御主人様、 水天宮へ参詣ニ御出被成、 亦まき・よし御参詣被成候事

### 六月六日 未 曇天

喜多村平六郎住居明細取調申候事

川越店より郵便到来之事

### 六月七日 申 終日雨天

須賀社神輿巡行、 本日有之候事

昨六日若御主人・秀次郎様、 博覧会縦覧見物ニ御越し可成候事(被)

秀次郎、日枝神社・平川天神・四ツ谷天王御清砂申請ニ、車ニテ御越(<sup>穣脱)</sup> (河) 曇天 **六月八日** 酉 曇天

しニ相成候事

御主人様・若主人・おまき様、 博覧会縦覧ニ車ニテ御出被成候事

若主人・秀次郎公・おまきさま・新川隠居、 夕刻より須賀神社参詣御

出被成候事

### 六月九日 天気 曇天第九時頃より

上野博覧会縦覧二勝蔵罷越、 通券・弁当料として金弐十銭被下候事

浅草山谷町伊藤太郎吉、今暁二時頃死去之旨、同長家弓気田兼吉与申 者、伝七宅まて通知に相越ス、依テ午前十一時頃より伝七、太郎吉宅

相越恵金遣し候事

### 六月十日 亥 雨天

水野忠敬公家令土方教殿入来、見世ニテ若御主人御面会有之候事

梅若近右衛門殿、謡稽古入来之事

松平信正公家令岸田躔殿入来之事

六月十一日 子 曇天 少時ルー時頃より

、古筆了仲殿入来、御主人様御面会被成候事

、川越店親夫藤吉、博覧会縦覧として出京いたし候事、鈴木善三様御入来、右同断之事

秀次郎公御不快二付、 竹むら良庵殿為見舞御出被成候事

六月十二日 丑: 曇天 少シ晴ル午十二時頃

一、川越店藤吉、 博覧会縦覧ニ相越、後三時頃帰店いたし候事

両御主人様、 蔵能見物ニ車ニテ御越しニ相成、(前脱) 午後より尚又車迎ニ差

、竹むら氏、為見舞入来之事

出し候事

### 六月十三日 天気

今朝川越店蔵親夫藤吉、 博覧会縦覧済二付出立致候事

博覧会縦覧として、伝七前十時頃より相越、 後三時半頃帰店いたし

候事

午後より水野忠敬公江御主人様御出被成候、午後五時頃御帰りに相成

### 141

## **六月十四日** 卯 天気

- 一、須賀社神輿、今朝七時神田本社江御帰社ニ相成候事
- 一、日枝神社大祭宵宮三付、町内軒提灯江造花取提、鳶金蔵扱、出金店々
- 、川越店横田徳三郎より郵便到着之事
- 一、太物渡世秩父屋定次工花色絹代金相渡候事
- 残り十俵ハ本年六月買入之分、貫目壱俵ニ付風袋とも四貫八百目ツ、一、鉄砲洲丸屋長左衛門より備浅拾五俵送り来候内、五俵昨六月中買入、

## 六月十五日 辰 天気

有之候事

- 一、米相場、鈴木善助殿・深川木むら忠蔵ェはかきを以取合候事
- 、馬場先門岩倉殿より醤油弐樽注文ニ付、勝蔵を以相送り候事
- 、松平信正公より此程御移転に付、御祝に赤飯一重・鰹節切手御恵贈

## 六月十六日 巳 曇天

- 一、松平信正公家令岸田躔殿御入来、方位之義二付御相談有之候事
- 、梅若近右衛門殿はかき到来之事
- 、桂川甫肝殿御入来、御主人御面会被成候事
- 、松平信正公御邸ェ車ニテ御主人様御越し被成候事
- 付、同日午後二時より御尊来被下候様案内、及蒸物一重・煎茶半斤到、奥三郎兵衛殿より、御養父宗喜殿一周忌取越法営、来ル廿日相勤候ニ

、生板橋際今川小路三丁目辺出火ニ付、伝七・勝蔵・鳶金蔵相越し候事(#)

ス候(トト) (トト) 松平信正公・板倉公両家エ見舞ニ相キ

## 六月十七日 午 曇天

- 公・孝吉相越候事一、昨夜出火に付、旧重原藩士関野清市殿類焼不定に付、見舞に秀次郎
- 、竹むら良庵殿、為見舞御入来之事
- 、梅若近右衛門殿入来、謡稽古ニ入来之事
- 御見舞被下忝旨、はかきを以答礼之事一、松平信正公御家令岸田躔殿・白井勝承殿より、昨夜近火之節ハ早速

# **六月十八日** 未 午後五時頃より晴ル

、今川小路三丁メ関野清市殿より、近火之節ハ早速御見舞被下候旨、

は

、古筆了仲殿御入来之事

かきニテ挨拶有之候事

より記シ絵図及雲州流第壱号ノ秘書御貸渡ニ相成候事一、大工吉五郎相越、茶屋敷突上ケ窓寸法伺ヒ度旨願出ル、依テ御主人様

## 六月十九日 申 天気

へ順延致し、本日午前帰社候事八丁堀一円巡行、昨十八日帰社ニ可相成候処、雨天ニ付茅場町御旅所一、日枝神社大祭ニ付、神輿去ル十五日区内渡御、夫より旧六・七小区、

、去月廿二日、木むら忠蔵より買入候勢州一志郡白米五俵之口、本日よ

、奥宗喜殿一周忌法営案内有之候ニ付、奥氏方ェ金壱円五十銭香料幷手り遣初メ候事(会力)

添相送候事

使勝蔵相勤メ申候事

## 六月廿日 酉 終日雨

、御主人様、奥宗喜一回忌逮夜ニ付、佐賀町宅江午前十一時より御越シ

相成、三時頃御帰館候事

## 但往返車之事

# **六月廿一日** 戌 後より少々晴ル

,奥三郎兵衛殿亡父宗喜殿一回忌:付、為築地本願寺地中正源寺ェ、

為名代秀次郎公・御供勝蔵相越候事

但御墓所江花筒早朝二勝蔵持参候事

梅若近右衛門殿、謡稽古ニ入来之事

一、午後九時比より仁杉英殿、宮崎金談之義ニ付御入来、十時過御帰り

相成候事

## 六月廿二日 亥 天気

進ノ御披露書状到来之事一、松平信正公御家令岸田躔殿より郵便を以、信正公四等検査官ニ御昇

、奥三郎兵衛殿ェ重箱二ツ返却ニ勝蔵相越候事

ニテ、可成者明朝参り呉候様被申聞、依テ引取候事芝紅葉館能見物御廻り之由、夫より夜ニ入、亦々相伺候処御酒酔之旨一、仁杉氏方ェ午後三時頃伝七罷出候処、御同人サマ、本日者引ケ掛より

## 六月廿三日 子 天気

官伊之介相越候事、昨廿二日午後六時過、壱番蔵雨押損シ所及稲荷蔵角瓦損シ造ヒ候、左、

一、今朝伝七、仁杉英殿方ェ宮崎吉兵衛金円之義ニ付、相談ニ相越しニ候

事

、第一国立銀行より手紙到来之事

、例月之通、乾先生同行御方々入来、後六時三十分頃御帰りニ相成候

事

事

参ニ付一泊被致候事一、川越店焚奉公人、博覧会縦覧として出京致ス、依テ同店より添状持一、川越店焚奉公人、博覧会縦覧として出京致ス、依テ同店より添状持

## 六月廿四日 丑 天気

- 日締切附立勘定云々申遣シ候事一、川越店飯焚作造、今朝七時頃出足致候、依テ当店より同店ェ本月三十
- 、御主人、松平信正公御昇進被為遊候二付、為御悦参殿被成候事

但し往返車之事

として店次之通被下候事一、下女たけ、午後より御日間頂戴、博覧会縦覧相越、附テ通券及弁当費

## 六月廿五日 寅 曇天

- 来ル廿九日、 及孝吉発足之旨、 川越店々卸勘定検査与シて、若御主人幷為見習秀次郎君 御主人ヨリ御達之旨有之候事
- 川越店ェはかきを以、 御申越之貴地銀行役員エ贈進品何品ニて致哉、 附立勘定に本月廿九日当地出立に付テハ、 軒数共ニ右日限迄間ニ 兼 Þ
- 下女はる・きよ、 二十銭被下置、午前十一時頃ヨリ御日間頂戴、 博覧会縦覧二相越、 (暇) 旅子通券及弁当料与して壱人金 五時頃相戻り候事

合候様、

御報道有之旨通知候事

### 六月廿六日 卯 曇天

若主人・秀次郎公・孝吉衣服柳コリ入油紙包、 船工積入申候事 江戸橋際尾張屋エ急便

- 伏見町差配人堀事より、 員ヨリ修繕ヲ達し越候旨ニテ、急速造ヒ之義、(簿) 地所内上水井戸側損シ所有之、 郵便を以通知在之候事 右に付衛生委
- 沢屋慶次郎より上白米三升、 両に七升三合かへにテ買入、主人飯米に

用ユル也

### 六月廿七日 辰 曇天

- 第一国立銀行工御使二勝蔵相越候事
- 梅若近右衛門殿、 謡稽古二入来之事
- 松田長右衛門妻入来之事
- 孝吉、 博覧会縦覧二相越候事
- 午後九時頃、 仁杉英殿入来之事

### 六月廿八日 巳 雨天

- 鵜沢藤江殿迎与して、 勝蔵相越候事
- 川越店より本月廿六日附送り状ニテ〈米〉七樽送り来候事
- 竹むら良庵殿為見舞入来、且為御薬取勝三、御同人宅ェ両度相越候事

### 六月廿九日 午 天気

本日若御主人・秀次郎公、川越店附立勘定為検査与シテ御出発ニ相 成、 甲州屋壱人乗弐輛相雇候事

附テ為差添孝吉出立、 歩行に付一時カン余り御先江出足致

- 乾ノ方吉方ニ付、 取与シテ、およしさま車ニテ御越し被成候事 牛天神・築土明神・赤城明神・市ヶ谷八幡宮ェ御砂
- 浦井竹窓氏ョリはかき到来之事

### 六月三十日 未 天気

- 鈴木善三様御入来、 御主人様御面会被成候事
- 浦井竹窓氏入来、 昼飯差出ス、 後三時頃戻事
- 川越店より昨廿九日午後三時、 御到着之案内、 はかきを以相達し候事 若御主人・秀次郎公・孝吉、 道中無滞

### 七月一日 申 雨 天

- 神田川平岡社江伝七ニテ相越候事鈴木善三様御手紙使到来之事
- 第一 国立銀行エ伝七相越候事
- 仁杉氏江宮崎ノ事件ニ付、伝七より手紙相贈り候事(送)

### 七月二日 酉 十二時頃より晴ル午前六時雨降ル

躋寿社より社員 き到来之事 六月 日死亡候に付、 後備掛金出金候様はか

一、仁杉氏より伝七当テ、 昨一日出之はかき、川越若主人及秀次郎公ヨリ弐通至来、依テ秀次依テ右之段、川越若主人方江報道ノはかき差出候事依テ右之段、川越若主人方江報道ノはかき差出候事(#在之脱) 只今小島市介入来之旨申来り、 依テ宮崎エ 一相渡

郎公小印郵便を以相送り候事(江脱)

### 七月三日 戌 曇天

清水屋金七殿入来之事

### 七月四日 亥 曇天 少々晴ル

川越店よりはかきを以、 証券留控失念之趣申来り候事

車夫直吉相越候ニ付、 水野忠敬公家令土方教殿御入来候処、 蒸菓子・手紙依頼致候事 主人病気ニ付、

依テ即御引取ニ相成候事 附テ御同人御申置候松平信正公御縁組之義、 承細ハ御主人御(詳) 面

会之上、 可申述旨被仰置候

七月五日 子 六時頃より止ム、曇天前四時より大雨

土方教様江、 昨日御来臨之節主人病中故失敬致候旨、 郵便を以申遣

六日分

、伏見町八番地々所水上井戸悪水指ニ付、井戸屋徳兵衛より職方三人(上水) 相越水替致候処、 附テ為見分勝蔵相越候事 根側悉ク損シ居候ニ付、 ハタコメ指水留方致候事

### 七月六日 丑: 曇天

一、壱番蔵雨押弐ヶ所・稲荷蔵屋根ケラハ・ 伊之介相越候事 同所フミ段損シ所造ヒ、(繕)

諸式漆喰壱斗五升・灰炭弐ツ

## 七月七日

雲州紙之義ニ付、 今朝よりはい原弁金花堂及経師屋江取合ニ勝蔵相越

旧商店売掛金拾五円三十三銭奥江相納メ申候事

川越店在勤若御主人様幷孝吉より、 有之候事 本年附立勘定巨額ノ純益金報道

梅若近右衛門殿、 語稽古ニ相越し候事

右之段御答申

川越店
エ純益金通知ノ報書差出候事、附テ若御主人、 但し脚半弐足急便船を以相送り候事山江参拝被成候様申送り候事 御同所より高尾

勝蔵、 雲州紙之義二付湯島三組町迄相越候事

七月八日 卯 九時頃より曇天前七時頃晴ル <u>+</u> 一時より晴ル

、亀井戸天満宮・柳しま妙見・牛ノ御前社エ吉方御清砂受ケニ、およし

さま車ニテ御越被成候事

一、午後より浅田宗伯先生ェ御主人様診察ニ御越シ、およしさま同道之事

伝七風快ニ付、 後六時頃養生として自宅引候事

### 七月九日 折々晴ル

亀井戸天満宮・柳しま妙見・牛ノ御前ェ吉方御清砂受ケニ、御主人(衍字) 様・およしさま車ニテ御越しニ相成候事

雲州紙之義二付、 榛原エ勝蔵相越候事

松平篤郎公御邸上伝七罷出、御家扶谷末泰造殿上得面会、 金ヲ八月・一月与御猶予願上候処、 即御聞済二相成候事 盆暮両度納

伝七風快ニ付、岩瀬先生療治 (平) 但し往返車ニテ相越候事

岩瀬先生療治申受ケ候事

### 七月十日 巳 天気

午前十時頃、久平治代平野精次郎ノ代ノ者ノ由ニテ、 家督相続勧解願ノ件召喚状持参ニ付、伝七応対致シ、 伝七より受証差出シ置、 即仁杉氏工右召喚状持参依頼候事 主人不在ノ旨を 築地区才判所江(裁)

### 七月十一日 午 天気

本日別条無之候事

七月十二日 未 天気 雨降出ス

一、竹むら良庵殿午後入来、 伝七義、 見世打臥居候間、 旦那より差図ニテ

> 申置、依テ伝七、より自宅江引取治療致し候事 診察致し候処、邪気熱甚敷、依テ即煎薬五貼御遣し、至急手伝致候様(当力)

去ル七日川越店江、若御主人・秀次郎公・孝吉高尾山参拝之義、 便差出し候事 り候得共、更報道無之、依テ本日はかきを以、代理徳三郎殿江当テ郵 申送

### 七月十三日 曇天

一、雲州紙之義ニ付、 湯島三組町雲州国産出品人総理人旅宿工相越候事

、午後八時頃仁杉氏、本日築地区才判所江者出頭不致故、 むら良庵殿方江御主人ノ容体書申請ケニ勝蔵相越候事 来致候哉之旨尋、則別段原告及才判所より沙汰無之旨相答、夫より竹(裁) 定而召喚状至

川越店出若御主人・秀次郎公・孝吉郵便、 昨十二日出之書留郵便至

来之事

### 七月十四日 酉 天気

築地区裁判所江仁杉氏出頭致し候事

湯島三組町島根県出品人総理人方江雲州紙之義に付、 勝蔵相越候事

今朝、 松平信正公御邸へ醬油諸実小樽入、進物ニ相送り候事(サヒ)

### 七月十五日 戌 天気

本日別条無之事

### 七月十六日 亥 天気

午後八時頃、若御主人・秀次郎公・孝吉、本日八王子出立ニテ、 店ニ相成候事 御帰

### 七月十七日 子 天気

成候事 第一国立銀行株主総集会二付、 両御主人様午後二時頃より御出頭被

> 本所亀沢町松平信正公別邸ェ醬油諸実小樽弐ツ相送り候、(柴) 芝区役所へ、伏見町地所平岡氏江金三百円ニ書入致シ候ニ付、 若主人出頭取引之事 本日

勤メ候事 使勝蔵相

川越店より郵便を以、

室営繕費積り書送り来り候事

、鈴木善三様御入来、 御主人様御面会被成候事

七月廿二日

天気

、桜田伏見町貸長屋ろ印、 本日貸渡候約定取結候旨、 堀事方より通知

有之候事

暑中配秩父小二締八十帖・水引二わ・駿判二状送り來候事(帖)

右に付暑中配り品物出来、 勝蔵相勤メ候事

竜之口勧工場へ若御主人・秀次郎公・おまきさま、後三時頃御出被 成、 御供として鳶金蔵相越候事

### 七月廿三日 午 天気

今朝為暑中、鈴木善三様・板倉勝達公・関野清市・松平信正・板倉(公脱) 勤メ申候事 勝已公・牧野弼成公・中村清行・大河内公へ進物持参、右使勝蔵相

第一国立銀行より手紙弐通到来之事

鈴木善三様、 為暑中重箱入分り不申候 御使を以御送り被下候事

暑中為見舞、 松平信正公家令太田資竜様御入来之事

但し昨廿二日 ノ洩

本日例月之通、 乾先生ノ一行之衆御出被成候事

本日別条無之候事

七月十八日

丑:

天気

### 七月十九日 寅 天気

松平信正公工若御主人様御出被成候事

但し往返車之事

梅若近右衛門殿、謡稽古御出被成候事

### 七月廿日 卯

伝七、 少々快方ニ相成候間、 本日出勤候事

茶道具師本屋平蔵入来、御主人様御面会被成候事

松平信正公家扶白井弥太夫殿入来之事

平岡準蔵殿手代阪本柳左殿宅江、若御主人様本日御出被成候事

水野忠敬公家令土方教殿、 後八時頃入来、 御主人様御面会、 十時頃御

帰りニ相成候事

## 天気

七月廿一日

辰

## 鈴木善助様状箱有之候事

### 七月廿四日 未 天気 おり曇天前十一時頃

今早朝暑中為配、 前十時頃戻候事 水野忠敬公・ 松平篤郎公及平岡照 殿邸エ 勝蔵相

- 浦井竹窓殿より、はかき郵便到来之事
- 昨夕刻竹むら良庵殿、 為見舞相越候事
- 内藤新宿弐丁目多々良玄達公物品配達を以、 送り候事 紙布糸目方弐拾九目相
- 区才判所召喚状ニ付、則受取遣シ、御主人江右(裁) 午後八時頃蠣殼町平野使之旨ニテ状箱持参、 ・喚状ハ若御主人、仁杉氏江御持参相成候事 則受取遣シ、御主人江右之段通スル、夫より右 依テ請取候処、 築地

### 七月廿五日 申 天気 夫より曇天 前四時頃小雨

- 為暑中配、大河内信古公・彦阪円治・成瀬温殿・聞城寺・佐藤市太郎(逑) 竜作・桂川甫肝・竹むら良庵・仁杉英殿勝蔵相越候事 殿・酒井惺斎殿・報恩寺・長応院・松平定敬公・松平賢竜院公・西島
- 久平次事件ニ付、 築地区才判所江仁杉英殿出頭致候事(裁)
- 梅若近右衛門・松浦宏・仁杉英殿御入来、 終日謡浚有之候事

### **七月廿酉日** 申賣

- 荒木分兵衛殿、為暑中御入来之事
- 仁杉英殿、午後五時頃より御入来、 久平次事件云々御相談有之候事

目黒祐天寺より、 百万遍料五十銭過日相送候二付、 はかきを以通知

有之候事

- 鈴木善三様より御手紙使到来之事 (A) 大男廿七日 戌 天気
- 川越店ヨリ消炭六俵及下駄三足送り来候事
- 岩倉邸内野口・矢野両家江〈米〉壱樽ツ、相送り候事
- 新川御隠居江消炭弐俵・焚木七束、 勝蔵を以相送り候事
- 秀次郎公御誕生日二付、 御祝膳店中へ被下置、 店・台所エハ焼物料金
- 五銭ツ、被下候事、
- 川越店より暖室営繕積り区分書、 郵便を以相達候事

### 七月廿八日 亥

- 目黒祐天寺僧正為暑中御入来、 若御主人御面会被成候事
- 浅草聞城寺へ伝七より、同寺営繕費奉納之義ニ付郵便差出候事(成)
- 鈴木善三様御出張先第一銀行江勝蔵手紙使二相越候事
- 夜二入、薬研堀不動尊へ若主人・秀次郎公御参詣 蔵・鳶金蔵相越ス、十時過ニ御帰りニ相成候事 二御出被成、 御供勝
- 竹むら良庵殿、 為見舞御入来之事

### 七月廿九日 甲子

- 多々良御隠居御入来之事
- 仁杉英殿入来二付、 判所江御出頭ニ相成相成候事(衍字)(でお英殿入来ニ付、事件ニ関シ候書類・ 日記帳| |冊御渡申上、即区才

- 鈴木善三様御入来、 御主人御面会被成候事
- 松平信正公御家令岸田躔殿、 為暑中御入来之事
- 竹むら良庵殿、 為見舞入来之事

### 七月三十日 ∄: 天気 より曇ル午後第四時

浅草添地聞城寺へ早朝勝蔵御使ニ参候事 (寺殿) (成)

- 竹むら先生へ薬取者伝七父幸次郎参候事

井上治助様御入来、

御主人様幷伝七応対候事

- 第一国立銀行内鈴木善三様より御手紙到来に付、 受取証差出し 申候
- 鉄砲洲丸屋長左衛門ョリ雑炭買入候ニ付、 書出し使之者持参候事
- 伝七、 病気ニ付終日引籠候旨、 御主人様江孝吉御届申上置候処、 井
- 新川鹿しま御隠居様より郵便到来之事

上様御入来に付一時出勤候事

竹むら先生、 為見舞御入来之事

### 七月三十一日 寅

- 川越表黒須喜平殿・山崎嘉七殿弁横田屋竹太郎殿江亀ノ歳酒三瓶外小 刀壱丁、江戸橋際尾張屋常吉方急便舟へ差出し申候事
- 野むら子仙殿、 暑中為見舞菓子壱折持参御入来之事
- 平殿・支配人亀屋嘉七殿、滞在中返礼として、亀ノ歳相添郵便差立川越表横田五郎兵衛殿・同徳三郎殿・第八十五国立銀行頭取黒須喜

- 竹むら先生へ御薬取ニおたま参り候事
- 躋寿社より社員死去ニ付、 家田よし向郵便到来之事
- 八丁堀山城屋忠兵衛・菊屋惣兵衛方へ月賦受取ニ勝蔵参候事
- 諸向へ払方、丸屋長左衛門・菊屋仁右衛門・魚屋太助・甲州屋惣兵 候事

衛其外共、

勘定相渡し

### 八月一日 曇天 朝雨降ル

- 京橋銀座壱丁目日就社久代氏御在住勝蔵承りニ参り候処、(〈脱) 下横浜区横浜住吉町四丁目日就社出張所へ罷在候由被申聞候事 神奈川 県
- 横浜久代吉十郎殿へ郵便差立候事
- 川越店へ(米)拾樽か又ハ五樽ニ而も至急御廻送之義、 郵便ニテ申遣し

候事

- 深川相川町十八番地木村忠蔵殿へ小口物上物見本持参候様、 出し申候事 郵 便差
- 鉄砲洲丸屋長左衛門方より使ヲ以、 炭四十俵預り証送り来、 直二若旦

那樣御受取

ニ相成候事

### 八月二日 辰 雨降 サレトモ曇リ居時々晴ル

- 仁杉氏、築地区裁判所へ出頭掛ケ入来、正午帰り掛立寄、 引取候事
- 釈照薫・釈恵慶二尊霊御祥月当日に付、 吉、上下人力車ニテ参り候事 御墓参ニ秀次郎様・ 御供孝
- 右同断に付、 店中幷藤江・鳶金蔵膳部として三銭ツヽ被下候事(イハル)
- 鈴木善三殿へ手紙使ニ秀次郎様御出被成候事

小駒半次郎殿へ月賦金受取ニ勝蔵参候事

### 八月三日

- 深川相川町木むら忠蔵方より白米見本持参候事
- 横浜久代吉十郎殿より郵便到来之事
- 蠣殼町壱丁目斎藤安兵衛殿入来、 およし殿面会被致候事
- 梅若近右衛門殿入来之事

### 八月四日 曇天

深川木むら忠蔵殿参り、美の中印白米三俵申付候候事(符字)

- 躋寿社員より引続入社報道有之候事
- 川越横田徳三郎殿より若主人当テ郵便到来之事
- 本所松浦氏へ御主人様より御手紙ニテ、旧商店売掛金之義付、勝蔵御

使ニ参候事

御主人様、松平信正公へ御出、夫より板倉公へ御廻りニ相成候事

- 若御主人様、西しま公へ御出被遊候事
- 、土方教様外御壱名御入来、 過而人力車ニテ御帰り候事 御主人様御面会、 御酒肴有之候、 午後九時

#### 八月五日 未 天気 時々曇ル

- 一、水天宮ェ御主人様御参詣ニ御出被遊侯、 札五百枚施シニ致候分、 勝蔵受取候事 且川越店例年之通、 (<脱) 右同宮御
- 片門前町壱丁目六番地差配人中むら伊之吉より、貸長家に号昨四日 引払ニ相成候旨、 郵便を以届出候事

- 蠣殻町壱丁目四番地斎藤安兵衛殿方へ鉱山云々之義ニ付、勝蔵御使ニ
- 、清水屋金七殿入来之事 参候事
- 水天宮御札五百枚川越店竹箇ェ入レ、江戸橋尾張屋常吉方ェ差出し幷(エルヒ)

案内郵便差出し候事

芝区片門前町壱丁目六番地貸長家に号引払、 廻として勝蔵相越候事 伏見町八番地貸長家見

### 八月六日 曇 天 天 気

、御志ノ法営三付御主人・およしさま、麻布一本松長伝寺へ御参詣

出被成候事 附テ夫より三鈷阪西光寺・白銀高野寺・清正公・鮹薬師(坂)

動及祐天寺へ御参詣相成、 後七時頃御帰り

- 一、水野忠敬公家令大岡方より御手紙、 使を以到来之事
- 井上治助殿御入来、若御主人御面会被成候事
- 本日御志法営ニ付、昼飯ニ茶飯・ケンチン 豆腐 及店中へ菓子料とし(会カ)

て五銭ツ、被下置候事

附テ新川御隠居御上下弐人江非時・菓子料送ル

深川木むら忠蔵より美濃中印白米四斗入弐俵持参、 但し両二八升六合かへ 代金相渡申候事

#### 八月七日 酉 天気

根岸成瀬先生江秀次郎公御越シ、 上下車之事

・目黒不

- 進、 桂川氏へ粉薬拾五帖弁なでしこ壱盃貰ヒニ、此方よりむら雨弐棹呈 西島先生へ竹ノ敷物・奥店又吉へ手紙使、右勝蔵兼勤候事
- 壱斤 野む 水野忠敬公、不日上州伊香保江浴湯二御出立二付、 御呈進、 若御主人様御越シニ相成候事 為餞別菓子沖ノ石
- 松平信正公より醬油壱樽御注文候得共、舟間ニ付、 きを以申上候事 暫時御猶余ヲはか(予)

- 築地区才判所江本日受日ニ付、仁杉英殿出頭致ス(裁) ハ月八日 戌 天気
- 水野忠敬公御邸江若御主人様往返車ニテ御越シ相成候事
- 渡有之候事 昨六日区役所、若主人本日出頭候様達し越候間、為名代孝吉相越候 議員調名簿二付、 田中鉄之助所有之地所調候間 印形持参候様申

#### 八月九日 亥 天気

- 泉州嘉祥寺むら奥三郎兵衛殿ョリ郵便到来之事
- 水野忠敬公御邸江御使、 勝蔵相越シ候事
- 但し家令土方教菓子折壱ツ・加藤瀬平殿江諸実壱樽呈進之事(喙江脱)
- 川越店より〈米〉六樽、 飛切船を以送り来候事
- 鈴木善三様第一国立銀行御出張先江御手紙、 使二孝吉相越候事
- 古筆了仲殿御入来、 御主人御面会之事

#### 八月十日 子 天気

水野忠敬公家令大岡氏ョリはかき到来之事

- 鈴木善三様御入来御入来、 御主人様御面会被成候事
- 受取人差出し候間、 (江脱) 十年六ヶ月、本月一日 共済千名社よりはかきを以、四ツ谷尾張町七番地社員高島祐啓殿五 本月一日病死候ニ付御通知致し候、 御渡し方有之度報道之事 依テ後備掛金弐拾銭

附テ日本橋区仮副幹事本町壱丁目小熊伝兵衛撰名 此段御承知有之度候事 相成候間

水野忠敬公家令土方教殿御入来、 両御主人御面会被成候事

八月十一日 丑: 九時三十分頃晴ル前八時頃より雨降

- 新川御母公さま御入来之事
- 松田長右衛門殿妻入来之事
- 水野忠敬公家令土方教殿ヨリ使を以、御同人小児虫気ニ付、 申受ケニ参リ、 依テ薬一具御渡申上候事 秘法ノ薬
- 、共済壱銭社より、社員秋山寿政・倉沢りう・ 取人来ル、 依テ相渡候事 素直保死去ニ付、 掛金受

### 八月十二日

- 梅若近右衛門殿、 **謡稽古御入来之事**
- 今早朝両国元町野口孫太郎殿方江正油壱樽、 附 :テ昨朝ハ松平信正公・板倉公江醬油〈米〉弐樽、 勝蔵を以相送り申候事 勝蔵持参候事

八月十三日

卯

堀井戸釣瓶竿除損シ所、 、鳶金蔵参り造ヒ出来之事 (籌) 末気 雨少々降ル 天気 雨少々降ル

井戸屋徳兵衛江、 はかき遣し候事 明十三・十四日・十五日ノ内上水井浚ニ相越候様、統字)(日脱)

飯米悪敷条引換候様、 木むら方江申遣候事

### 八月十四日 辰

深川富ヶ岡八幡宮祭礼二付為参詣、 Ш 、甫肝殿・新川御隠居方御越し、 御供勝蔵・たま相越候候事(衍字) おまきさま御出被成、夫より桂

候事

附テ桂川氏江一月より八月七日迄、 御薬料金壱円九十銭相送り

久代吉十郎殿、 候事 先頃横浜御□住以来初テ御入来、 (転力) 御主人様御面会被

## 巳

八月十五日 十時頃曇天、後二時頃晴ル午前六時頃雨少降

水野忠敬公御家令大岡様・土方様より御状箱使到来之事

若御主人様、 第一国立銀行江御越シニ相成候候事

孝吉義、 持病ニテ本日より引籠り、 付テハ御主人様より、 病気ニ候

竹むら良庵、(殿脱) 夕刻為見舞御越被成候事

ハ、無遠慮竹むらより服薬申請候様、

御沙汰有之候事

#### 八月十六日 午 天気 後六時頃雷声 少シ有之候

拾弐番地内上水井弐ヶ所水浚いタシ候事、井戸屋徳兵衛より職方之 者四人相越候事

伏見町差配人堀事より郵便を以、 貸長屋い号借人相越シ候間約定

貸渡申候旨、郵便を以通知有之候事 ( 衍 字 )

八月十七日 未 午十二時前より晴ル今暁四時頃より七時頃迄雨降ル

木むらヨリ白米見本持参、 尾州知多郡白米弐俵両ニ八六合かへ、(升脱) 買入

井戸屋徳兵衛より上水井浚工数受取相越ス、依テ金壱円弐十銭相渡 取結、 且前買入候残米五斗余り同人江相戻シ申候事

### 八月十八日 天気

一、近江屋源介殿入来、御主人様御面会被成候事

市山半し四拾状罫紙摺立出来之事(帖)

木むら忠造方より白米弐俵送り越、 壱俵四斗〇壱合入合八斗〇弐合

受取、依テ前買入米四斗五升同人江相戻シ申候事

午後八時三十頃より、銀座四丁目地蔵縁日江若主人・秀次郎(分脱) しニ相成、 御供勝蔵・鳶金蔵相越ス、十時過御戻り相成候事 公御越

### 八月十九日 酉

一、昨日、 竹むら良庵殿病気ニ付、 御弟子為代理として見舞ニ御越し候事(衍字)

本日御主人様、 越後屋御買物ニ御出被成候事

### 八月廿日 戌

越後やヨリ反物品々持参、 代金三拾円程也 依テ右之内御用ヒニ相成品々御取極、 凡

### 八月廿一日 亥

昨夜九時頃、 細谷資重様より郵便到来致候事

神田神社太々神楽ニ付、 為初穂金三十銭持参、 勝蔵相越シ候事

本日、 川越店賞与内評決定候候事

蒔絵師小川東珉、 人江御渡シ、 車相遣シ候事 後七時頃より入来、 御主人様御面会之上、 桐朋火鉢

### 八月廿二日

梅若近右衛門江はかき昨夜差出し候事

松平信正公家令岸田躔殿御入来ニテ、御同人令息御病気次第重り、依 テ家相方位ニテ宜敷御勘考ハ無之哉御取合ニ御入来、御主人様御面会

安井敬七郎よりフトウヲ酒壱瓶送り来候事

被成候事

### ∄:

、伊東亡朝花妻入来、 (亡伊東)(潮) **八月廿三日** 奥江相通り候候事(衍字)

本日例月之通、 乾先生同行之衆御入来有之候、 後六時過御帰り 相

伊東潮花之妻ヲ車ニテ浅草江相送り候事

成候事

本日後一時頃、 キニテ云々御談し之末、地所明渡候様御申渡シ有之候事 右鋏御隠居江当り、 御入湯ニ御越シ相成候処、 女湯江新川御隠居・おまきさま・潮花之妻三人連ニテ 夫より板ノ間江突差り、 湯屋三介不調法ニテ木鋏ヲ二階ヨリ落シ、 右ニ付、 夜二入湯屋御招

### 八月廿四日 寅 天気 九十二度寒暖計

水野忠敬公家令大岡亨殿より郵便到来之事

### 八月廿五日

旧重原藩士関野清一氏御入来、 御主人様御面会被成候事

松平信正公家令岸田躔殿御入来、 御主人御面会被成候事

### 八月廿六日 辰

水野忠敬公、日光ヨリ御帰館ニ付、 為御土産として練羊かん

からし・大谷海苔到来致候事

本日吉日ニ付、北ノ方損シ所造ニ大工吉兵衛・鳶金蔵・池屋彦兵衛職御同家御家令大岡亨殿方江手紙使ニ勝蔵相越候事

人壱人・左官相越候事

松浦宏方ニテ謡会ニ付、 御主人様・秀次郎公、車ニテ前十 一時頃より

御出ニ相成候事

#### 八月廿七日 巳 天気 午前八時頃 まて曇天

一、赤阪御店江元相勤居侯彦次郎与申者、当今南鞘町弐番地林彦次郎与(垓) 、水野忠敬公御邸江御使ニ伝七相越侯侯事 時候伺ニ相越シ候事

年季勝蔵、 会ニテ、本年七月より改壱ヶ年金拾五円与定、 季中出情相勤候 三付、為賞与金七円五十銭被下置、(精) 本年二月ニテ拾ヶ年満季相成、 本日御主人・若御主人御立 雇入之旨御達シ、且年 御達書頂戴致候

### 本人御礼申上相済

右立会、伝七相勤メ申候事

### 八月廿八日

勝蔵、 終日御日間頂戴致シ、藪入致シ候事

吉日ニ付吉方御砂取とシテ、秀次郎公車ニテ御出被成候事

能州一宮駅寺家村乾先生より郵便到来之事

町内湯屋、 去ル廿三日件其後不申出候に付、 催促致シ候事

左官孫兵衛養子惣太郎、 田吉太郎、 妻迎入候に付、両家とも祝ヒ遣候事 小児一昨廿六日男子出生致シ、拾弐番地池

### 八月廿九日 未

秀次郎公、新橋外平岡社江車ニテ御越シニ相成候事

但シ勝蔵御供ニ相越ス

松平篤郎公家令天野之邦・谷末泰蔵殿郵便を以、明後三十一日(江脱) 年賦

一昨廿七日白銀三光阪ヨリ使口上ニテ、兼テ御依頼金上納ニ罷出候旨、御案内ニ及ヒ候事

ノ義ハ石碑弁施主

松平信正公旧家令太田賢貞氏年賦金持参無之候ニ付、有之候、尚委細ハ後日参館可申述旨申来候事 旁手紙差出シ候事 郵便を以時候

伺

### 八月三十日 申

竹むら良庵殿、 見舞ニ御出被成候事

新川御隠居様御出被成候事

### 八月三十一日 酉 天気 後六時頃より晴ル午後より雷気、雨

鈴木善三様御入来、御主人様御面会被成候事

松平篤郎公江御約定金上納ニ秀次郎公車ニテ御越シニ相成、 て勝蔵同車致候事

九月一日 戌 午十二時頃晴ル、時々曇天二百十日也、午前雨、北風少々

梅若近右衛門殿、 謡稽古ニ御入来之事

九番地湯屋太田芳兵衛義、去月廿三日新川御隠居様へ不容易不調法 御立会秀次郎公・伝七・金蔵、 同人より数度願、 仕候より、日々御詫ニ相越、 依テ格別之訳を以詫書壱通落手、本日勘弁遣し候 其上鳶金蔵宅江御詫之義依頼之旨ニテ、 畢

竹むら良庵殿、 為見舞御越候事

植木屋金太郎・大工吉五郎ニ、来ル五日仕事有之候間相越し候様 はかき遣し候事

#### 九月二日 亥 天気

荒神様御釜注連トシテ、山本智定殿御祈鋳として御入来之事(簿)

#### 九月三日 子 天気

大工吉兵衛・植木屋金太郎方へ、明後五日庭柴折戸柱朽損シニ付、為 修繕無相違相越候様、 勝蔵を以申遣候事

、鉄砲洲丸屋長左衛門より、 経師栄次郎方へ狩野尚信福録寿掛物 ヺ 幅 壱幅損シ所繕ヒニ勝蘇鉄砲洲丸屋長左衛門より、預ケ置紀州備浅印炭弐拾俵送り来候事 壱幅損シ所繕ヒニ勝蔵

### 九月四日 丑: 天気 其後曇天午後四時頃雨少々降

砂むら大智稲荷社江車ニテ秀次郎公御参詣ニ御越しニ相成候事

竹むら良庵殿、 見舞御越候事

細谷資重殿御入来、 御主人御面会被成候事

茶道具屋平山金蔵より、 不昧公直書瓢語横掛物持参候事

#### 九月五日 寅 天気

御主人様、 水天宮上御参仏上御出被成候事

水野家令大岡亨殿より御使を以来状之事

本日、 奥庭柴折戸柱朽損所為根継、 大工吉兵衛・植木屋金太郎相越

候事

西島良東殿御入来、 御酒宴有之候事

吉方御砂取として、 秀次郎公車ニテ御越之事

茶道具師平山金蔵入来ニテ、 代金拾円ノ旨申述、 右之段勝蔵を以取次、来客中に付御面会不仕由、 昨日入御覧置候候不昧侯瓢 ノ語御掛物

口上ニテ右掛物相戻シ候事

木むら忠蔵殿より白米弐口見本持参、 上米八升八合五勺申来候事 越ヶ谷両ニ八升七合五勺、 肥後

夜二入、水野忠敬公家令大岡亨殿方江御手紙 使ニ勝蔵相越し候事

#### 九月六日 卯 天気

御主人、 返車ニテ御参詣御越シ相成、 御実母浄心院妙玄日特信女尊御祥月ニ付、 且店中江為蒸物料弐銭ツヽ被下置候事 四ツ谷理性寺往

秀次郎公、 吉方御砂取として往返車ニテ御越相成候事

竹むら良庵殿、 見舞二御入来之事

南鍋町壱丁目拾番地平岡支店主坂本柳左方白米さし米受取勝蔵相越(ARR) (ARR) (ARR)

候事

岸田躔殿郵便到来二付披見候処、 御養生不相叶、 本日前八時頃御死去之旨、 御同人令息御義、 御通知有之候事 長々御病気之処

夜二入、南鞘町弐番地彦次郎与入来、御主人御面会有之候処、 殿事件に付、当家主人湯治に此程出立可致哉云々ヲ探偵致候呉候様

北神保丁高木良之助与申者参り候由申出候事

### 九月七日 辰

岸田躔殿御令息御死去二付、 悔状差出候事

木むら忠蔵方より、 白米見本美濃聖矢印両に九四かへ持参に付取極

即弐俵持参候様申談候事

喜多村利兵衛方より、 兼テ預ケ置候焚木百束送り来候事

午後より御主人様、仁杉英殿方江御越しニ相成候事

#### 九月八日 巳 曇天、前八時頃 九時頃曇天

安井敬七郎殿より白糖水壱瓶、 使を以送り来候事

徴兵年齢各自届弐通差出し候様 区役所より達候ニ付、 則本日若主

人·秀次郎公年齢書上候事

### 清水屋金七殿入来之事

川越店ョリ昨七日附を以郵便到来、 副弐通ヲ調印申来り、 金催促状二付、 御主人様より伝七江断然御立腹ニテ御叱り蒙り、 及横田五郎兵衛殿より同店本年附立勘定賞与 第八拾五国立銀行継続約定証正 夫よ

御主人様御返書御自筆返翰御差出し候事

n

附テ書留便即差出候処、 六時過に付郵便局にテ落手不致故 九 日

### 前八時差立候事

梅若近右衛門殿、 謡稽古ニ御入来之事

九月九日

午

曇天

乾先生江郵便差出し候事

川越店より銘泉壱反織上り出来ニ付、 内国便を以送り来候事(通運脱)

#### 九月十日 未 小雨

Ш 越店亦造江 銘セん壱反到着之報幷織代価之云々状、 店より差出

昨八日木むらヨリ買入候白米匂ひ有之趣、 様、 はかき相送り候事 旦那様より御談ニ付引換

昨日、 亀岡公家令岸田躔殿息女此程死去二付、 為香奠金壱円勝蔵を以

相

送り候事

水野公家令大岡亨殿より御使を以手紙到来に付、 附テ乾先生同行渡辺むら殿方江よしとの手紙、 御返書差上候事 勝蔵持参候事

### 九月十一日 (申脱)

三時頃より晴ル前七時頃より十二時頃小雨昨夜十時頃より今暁三時迄大雨降

松平信正公御尊来有之、 主人御面会申上、 御帰館ニ 一相成

御主人、水野公家令大岡亨殿宅へ御越シニ相成六時頃御帰り、 V) 御手紙を以御同人方江秀次郎公・勝蔵御使ニ相越候事 夫よ

九月十二日 酉 天気 三時頃より雲立、八時前曇天、九時 雲立、夜二降、九時頃より晴れ

鈴木善三様御出頭先第一銀行御主人様御出ニ相成候事

竹むら良庵殿、 為見舞入来之事

木むら忠蔵へ飯米之義ニ付、一昨 之候二付、 はかきを以至急引換相談候事 十日引換相談置候処、 本日迄報知無

#### 九月十三日 戌 小 雨

北神保町高木か、 良介与申者より郵便相達シ候事

附テ久平次ヨリ本文良介江依頼シタル者推考スル

神田川平岡社江伝七相越、夫より三井組江相廻り、 但し往返車 十二時まて 十二時まり 午十二時頃戻候事

水野公家令大岡亨殿御入来、 御主人御面会被成候事

九月十四日 亥 十時頃より風少々穏ニ相午前九時頃迄強風雨

今暁二時頃大雨、 雷声甚 敷、 三時頃ニ至南風暴風相廃(発) 住居無事、

庭面板塀等損シ繕ヒ候事

右ニ付鳶金蔵、 大工吉兵衛・吉五郎、 左官孫兵衛・惣吉・伊之介、 植

木屋金太郎等、 見舞ニ相越候事

午後五時頃、 より咄し有之候事 出タル旨答、 よし、何国ノ人ナルヤ不知、旦那へ参リタル旨通セハ宜敷ノ旨答 彦次郎大いニ度ヲ失ヒタル鉢ニテ、(躰) 同人ヨリ旦那御在宿ナルヤ相尋ね候、 南鞘町弐番地林彦次郎与申者台所江相越ス、よし面会致 彦次郎ヨリハ、 此程御咄シ申候人カ昨日相越候旨申聞 早々相戻リタル旨、 よし答、只今一寸近所へ よしとの

### 九月十五日 子

奥三郎兵衛殿代又吉殿入来、御主人御面会被成候事

八丁堀大岡亨殿方ニテ御出産有之候ニ付、 掛壱ツ・背守壱ツ御送り申候事、 使勝蔵相越ス 為御祝と巾着壱ツ・ヨタレ

深川木むら方ヨリ白米品々見本持参在之候得共、 和泉屋源助より見本取寄候処、宜敷品故買入候約定致ス、両九四かへ 私用分無之、 依テ

吉田氏入来、 御主人御面会被成候事

### 九月十六日 丑: 折々晴ル

新銭座町細谷資重公より郵便相達候事

和泉屋源介より白米八斗四升買入候事

但し九升四合か

深川木むらより白米之義ニ付、 誠に悪敷白米差上候旨にテ、詫に罷出

九月十七日 寅 夫より晴ル九時前曇天 秀次郎公、清水屋金七宅洋犬児申受ケニ(江脱)

御出被成、

御供勝蔵相

竹むら良庵殿、

為見舞御入来之事

吉方御砂取として、 秀次郎公車往返御越相成候事

所取付、呂路下水蓋切はめ、裏町往返凹繕 異土蔵前土塀土塗損シ所、住居内雷信取付、 裏町往返凹繕ヒ、 台所入口・稲荷口鈴弐ケ 鳶金蔵参り候事

躋寿社より郵便を以、 よし方江副幹事人撰申来候事

吉田氏、伝七宅相越候事

平野精次郎義、一昨日何故徴役御所刑ニ相成候旨、、昨夜八時過仁杉氏御尊来、御主人御面会被成候処、 久平次代言相勤候 態々御知らセ被下

#### 九月十八日 卯 天気 曇朝 ア内

梅若近右衛門殿、 **謡稽古御入来之事** 

供済壱銭社ヨリ、 相馬そよ死去、 > 五口分後備金受取二相越、 社員大須賀貞助二口持類焼、 則弐拾五銭受取印落手、 長田和吉・広島ミと・

松浦宏・荒木新兵衛江売掛金催促相越 候事

相渡遣し候事

区役所より、 明十九日拾番より拾弐番地々方税相納候様、

来候事

#### 九月十九日 辰 天気

茅場町松田長右衛門殿、 旨知らセ越候間 不取敢勝三を以悔ニ差出シ、葬送之義ハ本日後三時 此程より病気之処、本日養生不相叶死去候

之由承り来候事

附テ三時より野辺送りとして勝蔵相越候事

竹むら良庵公、為見舞御入来之事

但し供江酒料遣ス

秋元惣吉江昨日より弐拾六貫目計貸遣し候為挨拶、 すし一ト皿到来

致候事

成瀬大城先生入来、奥江御通り被成候事

附テ御帰り之節人力差上候事

拾弐番地表上水井化粧側ェ鉄輪弐ツ取付ケル、 代金壱円四十銭相渡

但し桶屋弥七江、 水桶檜葉檜ニテ積り書差出候様申談置候処 模

様替ニテ杉大貫赤身与変シ候事

九月廿日 **曇天** 前九時頃迄

鈴木善三様御入来、 奥江御通り被成候事

多々良御隠居様御入来之事

新川サマ江焚木五束・消炭壱俵、 勝蔵を以御送り申上候事

およしさま、 御不例に付御引籠之事

竹むら良庵殿、 見舞ニ御越之事

九月廿 日 午 終日雨天

躋寿社代議員之義二付、 よしより郵便差出候事

、三田むら堀髪結伝七より元利金上納致候事

伏見町差配人堀事方より郵便はかき到来之事

九月廿二日 引続雨

彼岸非常入用ニ付、 神田板見屋様江椎竹弐升・観世麩買求メニ勝蔵遣

し候事

綿屋長兵衛より桜炭弐俵為見本持参、両ニ拾壱俵かへ之旨申来候

共済壱銭社より、 備金請取二相越、受取証取之、 社員鈴木丑五郎・近藤庄兵衛 片也 金円相渡遣し候事 死亡候に付、

松田長右衛門殿死去二付、 蠟燭壱箱五十丁入相送り候事

伏見町八番地貸家い印家賃之義ニ付、 差配人堀事方江郵便差出し

九月廿三日 彼岸中日 庚申 (天候脱) 旧 八朔

表神保町渡辺氏よりはかき到来之事

彼岸御志ノ非時五もくすし店中江被下候事

例月之通、 乾先生行者衆御入来之事

左官孫兵衛方より宮参り赤飯・鰹節到来之事

九月廿四日 酉 雨

川越店より昨廿三日出之状相達ス、 掛り候間、 壱人出張候様申来り候事、 来ル十月三日より暖室営繕 外ニ要用ヲ申越ス 三取

表神保町渡辺氏弁葺屋町衿善方に宮内りうとの参り居候に付、 時候尋

とシテ、およしさま御出被成候事、 供勝蔵・

清水屋金七殿入来之事

前田了伯殿より郵便到来之事

#### 九月廿五日 曇天 戌

御主人様・秀次郎様、 根岸成瀬先生江車ニテ御出被成候事

川越店江来ル十月三日暖室営繕之義返書、 郵便を以差立候事

古筆了仲殿入来、 昼飯差出し申候事

川越店より昨廿四日附ケ郵便相達ス、 亦造家内、 女児廿四日暁三時

出産之由報道之事

竹むら良庵殿、為見舞相越シ候事

#### 九月廿六日 雨 亥

梅若近右衛門殿、 謡稽古ニ御入来之事

附テ夜二入御戻り之節、大雨ニ付車差上候事

川越店江又造小児出産ノ報ヨリ右云々、及消炭・〈米〉印相送候様申遣

シ、 暖室営繕十月三日取掛りヲ申遣候事

成瀬先生及書生壱人同道ニテ御入来、奥江御通り即御帰りニ相成候事

前田了伯殿郵便御主人より御差出之事

### 九月廿七日 甲子 晴ル午前九時頃

清水屋金七殿入来、 洋犬種黒牡児壱疋送呉候事

鳶勘太郎病気全快二付、 為御礼参上之事

> 川越店より昨廿六日出之郵便本日相達ス、 又造妻出産云々報道之事

### 九月廿八日

十時頃より曇天天気

艮ノ方吉方江御砂取として、秀次郎公車ニテ御越被成、 橋場お出稲荷(招来)

社江供物奉納之事

川越店江御主人様より郵便御差出しニ相成候事

竜ノ口勧工場江御主人様・おまきさま・およしさま見物ニ御越候事

### 九月廿九日 八時頃少々雨曇天

鈴木善三様御入来、 御主人様御面会有之候事

新川御隠居様御入来之事

川越店暖室修繕ニ付間数云々ヲ取合状、 御主人より御差出し候事

### 九月三十日

第一国立銀行御出張先鈴木善三様より御使イ到来之事

第一国立銀行御出張工秀次郎公御出被成候事

報知新聞社江明十月 一日より発兌新聞逓送ニ不及旨、 はかきを以相

断候事

### 十月一日 辰

鈴木善三様御入来、 御主人御面会被成候事

奥三郎兵衛殿手代又吉殿入来、 御主人御面会被成候事

百島方江琴壱面、 勝蔵持参候事

### 十月二日

若御主人様、浅草聞城寺江御仏参ニ御越、夫より根岸成瀬先生江人力 車ニテ往覆被成候事

川越店より昨一日出之郵便、 本日来状之事

但し鳶金蔵も御越候事 鎌倉河岸辺出火ニ付、板見1 板見屋様江近火見舞勝蔵相遣シ候事

鎌倉町板見屋様江蒲焼・蒸菓子進物、 御使勝蔵相勤メ申候事

大岡亨殿御入来之事

奥三郎兵衛殿手代又吉より手紙使到来之事

### 十月三日

秀次郎公、平岡社江車ニテ御越し被成、御供旁同車ニテ勝蔵相越候事

奥三郎兵衛殿代又吉入来、 御主人御面会被成候事

若梅近右衛門、謡稽古ニ御越之事(梅若)

桂川甫肝殿御入来、 御主人御面会被成候事

野むら稲蔵殿御入来之事

\_ 第一国立銀行与定期預ケ金約定取結候事、若御主人、同行江御出被成

候事

成瀬温殿御入来、 謡稽古初メ被成候事

川越店江暖室・新築居所ノ件ニ付云々御文通、御主人より横田五郎兵

衛殿江当テ御差出しニ相成、 且絵図面云々文通有之候事

湯島天神四丁目辺出火有之候事

一、水野忠敬公御邸江両御主人様御出被成候事

十月四日

未

下女はる とく 親病気ニ付、 永之御暇此程より願出候ニ付、 首尾能暇

差出し候事

和泉屋源助方より白米壱石六斗送り来候事、

(空白)

### 十月五日

川越横田五郎兵衛殿出京、 御越之事

御主人様、 水天宮江御参詣二御出被成候事

御主人様、本所松浦江川越店家相之義二付御越之事 真崎稲荷神明・

吉方御砂取として秀次郎公車ニテ御越シ、

音之事

和泉屋より本日見本可差上候処、 宜敷品無之ニ付、 明日迄見本御猶

予被下度旨申出候事

### 十月六日 酉

横田五郎兵衛様御入来、 御主人御面会被成候事

川越店江営繕之義ニ付、 郵便差出候事

前田了伯殿御入来之事

両に八六かへ之事

若御主人・およしさま御風快ニ付、竹和泉屋源介より白米見本相送り来ニ、 竹むら良庵氏為見舞御越之事

但し酒料遣ス、 供之者

浅草観世

#### 十月七日 戌 曇天

横田五郎兵衛様御入来有之候事

松田亡長右衛門妻入来之事(亡松田) 附テ御同人江為面会、中井新右衛門代能勢惣兵衛相越 心し候事

古筆了仲殿より手紙使到来候事

三田むら越前半切浅黄五百枚買、(より脱) 受取候事

和泉屋より白米壱石六斗、 両二八六かへ送り来候事

#### 十月八日 亥 曇天

御主人様、古筆了仲殿宅江古物軸もの払有之候ニ付、 車ニテ御越候事

伏見町差配人堀事方より、 銭与決定貸付旨、 はかきニテ届出候事 い印貸長家本月より壱ヶ月金壱円六十

一、川越店より早船を以、 (米) 印拾樽・消炭拾俵本月四日出ノ分、 本日到

昨日買入ノ白米代金、 本日和泉屋源介江相渡申候事

着之事

十月九日 今暁より雷気甚敷 八時頃漸々止ム

下女清・たけ、 格別出情, ノ廉を以給まし被仰渡候事

水野公錣土蔵積り書、 諸方より差出シ候ニ付、 奥江差出シ候事

竹むら良庵公、 為見舞相越候事

#### 十月十日 丑: 天気 北風

横田 五郎兵衛様御入来之事

《米》 拾樽・消炭拾俵、一昨八日川越店着候ニ付、(より服) 則本日はかきを以到

> 着ノ案内状差出 『し候事

梅若近右衛門殿、謡稽古二入来之事

成瀬先生より御使到来之事

鈴木善三様より御使到着之事

### 十月十一日 寅

成瀬先生より方位之義ニ付、 御使入来之事

孝吉、追々全治ニ付御礼参殿ニ罷出候事

横田五郎兵衛様御入来、 本日川越江御帰りニ相成ニ付、

成瀬先生墊頭三宅氏、

方位之ニ付御入来有之、

御主人御面会有之候事

御挨拶二御越

#### 十月十二日 卯 曇 天 気

鈴木善三様御入来之事

竹むら良庵殿、為見舞御入来之事

新川様・多々良御隠居御入来之事

近源亭及松田後家入来之事

成瀬先生より郵便到来致ス、 御主人様ヨリも御差出しニ相成候事

### 十月十三日 (干支脱) 午前十時頃より専朝雨 晴ル

伝七不快に付、 本日十時頃より出勤致候事

御主人様、 車ニテ松平信正公御邸江御越シ相成候事

両御主人様、 浅田先生出張所へ診察ヲ受ケニ御出被成候事

、伏見町差配人堀事より、は印貸長屋住居人昨十一日転住之旨申候事( ^ ~ ~ )

夜より火の廻り取投ケ候旨、同所地主柏木彦兵衛殿差配人月番より一、本日後一時出之郵便を以、伏見町隣町屢々放火有之候ニ付、咋十二日

通知有之、廻文写を以差配人堀事方より申来候事

一、本日吉方御砂取として、秀次郎公車ニテ御越シニ相成候事

### 十月十四日 巳 曇天

一、本日も吉方御砂取として、秀次郎公車ニテ御越候事

一、およしさま、竹むら良庵方江診察請ケニ御越ノ事

一、岩倉公邸内小野氏ョリ〈米〉 壱樽注文到来之事

、大岡亨殿ヨリ宮参り之赤飯二重御送りニ相成候事

、旧商店掛廻りとして、勝蔵諸向江出向候事

、竹むら良庵殿、為見舞入来之事

前田了伯殿御入来之事

、御主人様、大岡亨殿御宅江御越しニ相成候事

### 十月十五日 午 曇天

一、竜蛇尊神御祭事ニ付、赤飯・にしめ店中被下、祭主ハ山本智定殿相勤

一、右ニ付、鈴木善三様・新川様其外江赤飯御贈進相成候事

一、松田長右衛門殿後家とみとの、地蔵橋辺江土蔵附売物買求メ候ニ付、

家相撰ミニ御主人様・およしさま御出被成候事

、新富町近源亭ヨリ、時候尋として口取肴壱重到来致シ候事

## 十月十六日 未 天気 曇天

一、竹むら良庵殿、為見舞御入来、供之者江酒料遣し候事

、松田長右衛門殿家内、同人方出入之大工召連相越候事

### 十月十七日 申 雨天

一、孝吉病気全治ニ付、祝ヒノ赤飯壱重送り来候事

、松田長右衛門方出入大工、絵図面持参り、台所ニテ御主人・よし殿面

会之事

、仁杉英殿入来、久平次事件亦々一両日之内ニ発候哉ノ旨、御噺シ有之

附テ午後十時頃畢ル梅若近右衛門殿謡稽古ニ入来、仁杉氏も同席ニテ謡会有之候事

## 十月十八日 酉 後晴ル 午前十時頃曇天

内藤新宿多々良玄達殿江薄美濃紙五状、物品配達を以相送り候事の一般新宿多々良玄達殿江薄美濃紙五状、物品配達を以相送り候事の一般である。

神社江参詣旁遊歩ニ御越、午後七時頃御帰館相成候事一、御主人様・おまきさま・およしさま、午後一時頃より九段阪上精国

壱枚及外ニ蒲焼券壱枚到来之事・、松平信正公家令岸田氏御入来、御同人令女営蒸物代トシテ、菓子券

| 成瀬先生塾頭三宅氏、方位及生月ノ事ニ付入来之事

### 十月十九日 戌 天気

茶宗匠由比氏入来、御主人御面会有之候事

- 新宿多々良玄達公御入来、 御主人御面会有之候事
- 大岡亨氏御入来、 御面会有之、 御酒宴有之候事
- 久平次代理平野精二郎使を以、 伝七より手紙を以報道およひ置候也(『脱) 則受取相渡、 訴状落手、即奥江呈ス、且右来状之義ハ、仁杉氏エ 東京裁判所奥書訴状幷手続共弐通持

### 十月廿日 亥 終日雨天

今朝仁杉氏江伝七より手紙を以、午後御入来被下候様申入候事

松田長右衛門殿より忌日ニ蒸物壱重到来候事

午後七時頃仁杉英殿御入来、 九時過御帰りニ相成候事

御主人様より第一銀行ェ御越し之事(符字) +月廿一日 子 終日雨

松田長右衛門殿妻幷本石町三丁目丸庄との入来、 御主人御面会被成

候事

第三十三国立銀行三村清左衛門殿入来、 茶座敷ニテ御主人御面会被

### 十月廿二日 丑: 曇天 より天気 十時頃

- 芝片門前町地所内加藤甚五郎明治十年三月建物書入質奥印、 付返却罷出ル、 改テ金四十円ノ抵当奥印願出候事 委 ぎ 当 ニ
- 久平次事件に付書類持参にテ伝七、仁杉氏方へ相越、 即引取候事 御同人不在に付

### 十月廿三日

一、今朝伝七、仁杉氏宅相越候事

、片門前町地所内加藤甚五郎、 願出ル、則証印致遣候事 今回金四十円建物抵当ニ致し候間奥印

、昨廿二日伏見町差配人堀事より郵便を以、 旦、 通達有之候事 は印貸長屋住居人転住候

本石町三丁目小堀氏、方位之義ニ付入来、 御主人御面会之事

乾先生同行之衆御入来之事

### 十月廿四日 卯 前九時頃より小雨曇天

松平信正公より昨日郵便ニ付、本日御主人様車ニテ御同邸江御出被成

第一国立銀行へ振出シ切手 ( 凡田 ) 持参ニテ、勝三受取り相越候事

竹むら良庵公、為見舞御入来之事

一、本石町三丁メ小堀方江方位之義ニ付、

御主人様車ニテ御越し被成候事

附供之者為酒料六銭遣し候事

成瀬先生入来、奥江御通り之事

#### 十月廿五日 辰 少雨

鈴木善三様御入来、 御主人樣御面会被成候事

浦居竹窓殿御入来、 御主人御不在二付、若御主人御面会、 見世ニテ御

帰りニ相成候事

### 梅若近右衛門、 謡稽古ニ入来之事

本石町三町目小堀氏入来、御主人御不在之旨ニテ、およしさま見世ニ

面会被成候事

### 十月廿六日 巳

小川町 渡辺様より郵便到来之事

旧記·伝奏其他諸帳面、 勝蔵虫干致シ候事

駅逓局官吏出張、 付、 則孝吉印致候事(捺脱) 年後七時頃到来候旨申入候処、書附ェ印捺シ可申様右官吏申聞ニ 昨夜小川町渡辺内より郵便何時頃到着之旨問合ニ

付、

根岸成瀬久太郎様より挑灯弐張、 荷物配達ヲ以御返却ニ相成候事

極、 飯焚女、神奈川県下相州三浦郡三崎磯崎町平民山崎九平次二女な を、十一月生十八年、能登屋より召連候ニ付、 壱ヶ年給金拾壱円内金弐円五十銭為取替相渡し、 本日目見致し、即日取 外二受宿周旋料

五十五銭、証書引替相渡し候事

但シ夜具布団貸渡し可申約定之事

両国回向院中むら貞栄墓参幷松浦殿ェ勝蔵掛取参候事

能登国咋羽郡一ノ宮駅乾満昭様 <sup>(羽咋)</sup> 竹村先生、為見舞入来之事 へ郵便御差出シ候事

### 十月廿七日 午

仁杉英殿より事件之義ニ付、 御使ヲ以書状到来之事

共済壱銭社ヨリ、 掛金受取証持参候間 社員千住三丁目百六拾番地森本又八郎殿死亡、 使之者エ相渡候事 後備

#### 十月廿八日 未 天気

今朝甲州屋惣兵衛参り、 与申旅籠屋へ御着之旨届出候事 御主人様幷伝七、 無滯上総国八幡宿近江屋

、小舟町弐丁目壱番地躋寿社より、社員成川まさ殿当十月一日死去之 義報道有之候事

伏見町・片門前地所ノ貸長家見分として、 候、商店売掛金之義ニ付、三田朋同町十弐番地若林与七方へ参り候事(同朋) 勝蔵罷越、 別条無之旨申出

竹村先生、 為御見舞御入来之事

飯焚女なを、本日夕刻引移候事

### 十月廿九日 曇天 時々雨降ル

今朝御主人様、御出張先上総浜野より郵便ニテ、 帰宅之旨、伝七より到来之事 成田不動参詣、 御

昨夜、仁杉氏へ孝吉御使ニ参り候事

雉子町団々社へ、 弐百三十五号迄ニテ配達逓送之義断之郵便差出

申候事

神田須田町フトウ尋、 旁小駒半次郎殿へ勝蔵参候

御主人様幷伝七、 上総国草刈村より午後七時頃御帰宅被遊候事

#### 十月三十日 酉 曇天

大岡亨殿御入来、 御主人様·若御主人様御面会被遊候事

本石町丸屋殿入来、主人義昨夜帰宅致候処、 不日当方より御返事可申候処申聞、 依テ直ニ引取申候事 今朝外方へ出張留守中

候ニ付十銭相渡し候事、共済壱銭社々員赤平定俊殿、長病ニ付共済金取集トシ、受取証持参

一、鹿しま御隠居・多々良御隠居様御入来之事

一、嘉井田治介様より御亡父一回忌御法営ノ蒸物一重御贈りニ相成候事

一、川越横田御隠居幷おかのさま御越シニ相成候事、夕飯差出し候事

一、仁杉氏ェ伝七より手紙を以、昨卅日主人帰宿致候旨及案内候事

し候扣御持参ニ相成候事一、午後十時頃仁杉氏御入来、去ル廿八日久平次事件ニ付、答弁書差出

### **十月三十一日** 戌 天気

、梅若近右衛門殿、謡稽古ニ御入来之事

、仁杉英殿御入来、午後九時過御帰りニ相成候事

附明後十一月二日東京裁判所江出頭候様、召喚状達し候旨御噺

シ有之候事

### **十一月一日** 亥 天気

との妻かね供ニテ御入来、早々御立帰りニ相成候事、川越横田御隠居・おかのさま・新川御隠居・多々良御隠居、喜兵衛

為香料金七拾銭相送り候、御使勝蔵相越候事一、嘉井田治介殿亡父御一回忌ニ付、一昨三十一日蒸物到来ニ付、本日

、御主人様、本所松浦宏殿宅江車ニテ御越シニ相成候事

蔵若者ノ趣答、夫より惣十郎、若狭屋某の手代トカ申、曖昧タルコト在ヲ問、勝蔵罷出不在之旨答、右之者より勝蔵御支配人ナルヤ問、勝、本日正午頃、年齢四十歳位ノ男子見世へ突然相越ス、御主人様在不

ツブヤキ立戻り候事申居、夫より伝七応対致、施与之義無用ノ旨押而断り、右之者何ヤラ

、伝七、仁杉氏宅江書類三冊・番組人宿名鑑二部持参候事

浅草聞城寺ヨリ御取越供物所化持参、孝吉受取、秀次郎様へ差上申(ថ)

候事

取、四枚御同人様へ御渡しニ相成候事太田資竜殿御入来、年賦金四円五十銭若御主人様御受取、利札切

### **十一月二日** 初子 天気

一、松平信正公家令岸田躔殿江郵便御差出シ之事

一、仁杉英殿、久平次事件ニ付東京裁判所へ出頭候事

一、嘉井田治介様亡父一回忌ニ付、湯しま天沢寺へ墓参ニ御主人様御

、およしさま、竹むら良庵殿宅江御越之事

シ被成、

且御読経後、

魚類ニテ非時御差出有之候事

### **十一月三日** 丑 天気

(会力) 候事、午後八時過御帰店之事 候ニ付、透引として御越シ被下、主人幷秀次郎公御同道ニテ御出被成一、松平信正公家令岸田躔殿御入来ニテ、芝公園地内紅葉館催シ能有之

一、佐藤市太郎様より、御祖母弐十七回忌御法営之蒸物壱重御送りニ相(含カ)

成候事

厘本日受取、証書ハ戻ス事附テ金壱円十六銭六厘内七十銭昨四月中受取、残金四十六銭六、三田四国町伊豆屋与七方江旧商店売掛金催促ニ相越候事

多々良玄達公・横田御隠居・新川御隠居御入来之事

奥三郎兵衛代又吉殿より郵便到来之事

### 十一月四日 寅

阪本載縫学校試験ニ付、 おまき御出被成候事

琴指南百島いま殿午後六時頃入来、 主人およしとの三味線ニテ、御主人越中節音曲有之候、後十時過、 おまきさま江稽古申上候後、 御 百

島相戻り候事

#### 十一月五日 卯 雨

本日大雨ニ付水天宮ェ御代拝として勝蔵参拝ニ、 御主人之名代ニ相越

団々診聞弐百卅五号限り配達断置候処、本日郵便を以弐百三十六号(※) 送致候事

### 十一月六日 辰

本石町丸屋忠兵衛殿入来、 御主人御面会被成候事

拾弐番地唐島米吉所有之建家、 今般河野よねへ売渡候ニ付、 奥書願

およしさま不快に付、 岩瀬針医入来、 療治致候事

#### + 月七日 巳 天気 曇天但し十時頃まて

両御主人・秀次郎公、 精国神社祭典ニ付御出被成候事(靖)

但若御主人、車ニテ先ェ御戻りニ相成候事

一、竹むら良庵公、為見舞御入来之事

躋寿社員成川まさ死去ニ付、後備金弐円三銭、 勝蔵を以社江相送り

内藤新宿多々良玄達公はかきを以、 明後九日水薬頂戴ニ差出シ候間

御調製置可被下候事

### 十一月八日 曇天

、昨七日、城東学校学務委員月番之義二付、名倉藤三郎殿入来、伝七応 対し候事

#### 十一月九日 未 曇天

一、昨日若御主人、靖国神社江方六調練見物、 申候事 菊見物 · 御出被成、後四時三十分頃帰店被成候事、 夫より染井・団子阪辺造(坂) 御供伝七相勤

大岡亨様より御使を以手紙到来候事

附正午十二時、 御主人様より御同家へ勝蔵を以手紙差出し候事

佐藤市太郎様御祖母御年回二付、 以佐藤様江香料御送りニ相成候事 此程蒸物到来二付、 本日内国便を (通運脱)

桂川甫肝殿亡妻三回忌に付、蒸物壱重到来致し候事

若御主人様御水薬ヲ新宿多々良氏まて正午より受取ニ勝蔵相越候事

城東学校公務委員五名より廻章を以、 明十日午後一時より寿へ御出

頭被下候樣申来候事

和泉屋・木むらより白米見本品々差出シ候事

一、上総市原郡草刈むらへ伝七より郵便差出し候事

一、伏見町差配人堀事より郵便今朝到来、即報書差出し候事

、夕景より御主人様、大岡公江御出江相成、十時頃御帰宅ニ相成候事

但御供ハ秀次郎公

を以召喚状到来之事

東京府公債課より、来ル十一日秩録公債証書利束下ケ渡候条、郵便(歳)(息)

### 十一月十日 申 曇天

一、今朝、仁杉英殿方江久平次事件如何相成候哉ノ旨尋ニ罷出候事

共、他向より買入候間今回ハ相断候旨、はかき便を以申遣候事、深川相川町十八番地木むら忠蔵方より、飯米見本数品送り来候得

一、多々良玄達公、若御主人ノ為見舞御入来之事

道ニテ寄セエ御出相成、供金蔵・勝蔵相越候事、午後六時頃より、御主人様・秀次郎公・おまきさま・多々良娘さま同

一、午後六時頃仁杉英殿御入来、若御主人様御面会有之候事

### **十一月十一日** 酉 曇天

一、東京府公債課へ若御主人様御越しニ相成候事

一、古筆了仲殿茶事ニ御主人様御出ニ相成候事

一、桂川甫肝殿亡妻年回ニ付香料、勝蔵を以相送り候事

一、佐藤市太郎様より香料落手ノはかき到来候事

一、夜二入、仁杉氏御入来、御主人様御面会有之候事

**十一月十二日** 戌 天気

一、川越店より醬油拾樽、早船を以送り来候事

一、水野家令土方教殿御入来、御主人御面会ノ上、総州草刈むら醸造

云々御談合有之候事

附御帰宅夜ニ入候間、車差上候事

一、多々良御隠居様御入来之事

若御主人様、辰ノ口勧工場へ御越シ相成候事

### **十一月十三日** 亥 天気

定之義ニ付、伝七江当取合状到来候事一、上総市原郡草刈むら古地茂穂殿より、同店明治四年より本年迄店勘

、和泉屋源助ヨリ白米拾俵送り来候事

但シ四斗入

御出被遊候事一、水野忠敬公ヨリ御招ニテ、御主人様・若御主人様、紅葉館ェ能見物ニー、水野忠敬公ヨリ御招ニテ、御主人様・若御主人様、紅葉館ェ能見物ニ

度ニ風邪之由ニテ金蔵宅ニ居候間、即刻参り、勝蔵・金蔵ニテ水替致夫より秀次郎公・孝吉、金蔵之宅ェ参り、人足相雇度由申聞候処、調通知候ニ付、直ニ勝蔵参り相尋候処、声而已ニテ更ニ相分不申候ニ付、、午後三時半頃飼犬、裏町柳花堂ノ縁ノ下穴蔵落チ候旨、同所より申

附而右骨折して蕎麦被下候事ま・勝蔵・金蔵・竹女・孝吉・秀次郎公引取申候事ま・勝蔵・金蔵・竹女・孝吉・秀次郎公引取申候事し居候得者、幸ヒニ穴蔵天井損シ所有之候処ヨリ犬引上ケ、

およしさ

十一月十四日 子 正午より晴ル

- Ш 、越横田徳三郎令女髪置祝ヒニ付、 金壱円五十銭目録包ニシテ手紙
- 添、 郵便を以相送り候事
- 上総草刈むら古地茂穂殿方江伝七ヨリ郵便差出し候事
- 多々良御隠居御入来、 夜二入候二付、 車ニテ日本橋迄相送り候事

### 十一月十五日 雨天 丑:

- 多々良玄達公工水服申受ケニ勝蔵相越候事
- 梅若近右衛門殿、 **謡稽古入来之事**
- 仁杉英殿入来、 両御主人御面会後、 謡稽古有之候事
- 野田屋繁蔵より、 川越店焼印三挺注文之分出来ニ付持参ス、 則代金

七円七十五銭相渡候事

秀次郎公硯箱、 清川より塗上りニ付持参、 代金弐円五十銭相渡候事

### 十一月十六日 寅

- 昨日、 新宿多々良氏ェ水薬申受ケニ勝蔵相越シ候事
- 之上、 松平信正公御内太田資竜殿御入来、 昼飯差出し候事 御主人御不快二者候得共御面会
- 一、仁杉氏、東京裁判所江久平次事件ニ付出頭候処、 御日延御猶予願出、 依テ来ル廿一日出頭之事 久平次来ル廿 一日迄
- 鉄砲洲丸屋長左衛門より兼テ買預ケ熊の備浅炭十五俵送り来候事
- 川越店江焼印三挺出来二付、 急便船を以差立テ候事
- 附テ案内状ハ郵便ニテ出し候事
- 夜二入、大岡亨殿方江若御主人御出被成
- 竹邑良庵殿、 御主人御不例に付見舞に相越候事

- 、新川様焚木五束、 (江脱) 、針医岩瀬、夜二入 夜二入療治二相越候事
- 勝蔵を以相送り候事

### 十一月十七日

- 、吉方ニ付亀井戸天神・香取神社御砂取として、秀次郎公往返車ニテ御
- 越しニ相成候事
- 松平信正公岸田躔殿江郵便御差出しニ相成候事
- 午後四時頃より若御主人、松平信正公御邸江御出 ニ相成候事
- 大岡氏方江若御主人御出二相成候事
- 第一銀行〈金三百円孝吉受取相越候事
- 久平次事件書物写字済、 仁杉氏へ夕刻相戻シ候事

### 十一月十八日 辰

- 本日、 王子滝ノ川紅葉見物ニ若御主人御誘引ニテ、仁杉氏与車ニテ御
- 越之事
- 川越横田御隠居様、 御出京ニテ御入来有之候事
- 浦井竹窓殿御入来、 之上、即御帰りニ相成候事 御主人御病気に付御面会無之、 秀次郎 公御面会
- 観世清鑑殿より使を以、来ル廿日芝紅葉館ニ於テ催シ能仕組候間
- 当日御越被下様相越候事
- 第一国立銀行伝七相越、夫より秀次郎公又相越シ候事(江脱)
- 千名社員相越、 今般社則改正ニ侯ニ付云々申越シ候事
- 附株数御取極メニ相成候ハヽ、本町壱丁目弐番地小熊伝兵衛迄御

報道被下度旨、 依頼有之候事

#### 月十九日 巳 天気

- 区役所江明治十四年七月より十二月迄前半年分、戸数割金八拾七円 五十銭勝蔵以テ相納メ候事
- 万町琴師兼岡より、 兼テ琴壱面直しニ遣し候分出来ニ付持参候事
- 板倉勝達公より (米) 壱樽注文、 はかきニテ到来候事
- 活計費とシテ金四拾円御渡しニ相成候事

### 十一月廿日 正午より晴ル昨夜九時頃より雨降ル

十月分活計残金六円弐拾壱銭、 若御主人取次を以御渡し ニ相成候事

大岡公江秀次郎公御手紙使ニ御越しニ相成候事

- 清水屋金七殿世話以テ、去ル九月廿七日洋犬貰受已来、呂路内・店+一月廿一日 未 天気 意素付掃除致居候得共、朝暮洋大便浚ヒ方ハ何れも不好候事(基キ)相成間敷ものカ、実ニ平常内外ノ掃除向厳敷被仰付居候間、銘々其趣 入口・台所入口無区別便ヲタレ甚困却極メル、此洋犬ヲ暇遣ス訳ニ者
- 左官惣吉弁奴壱人相越、 用心土総体かき廻シ候事
- 本日久平次事件に付、 Ξ. 日出候旨、 久平次方江七件程書物ニ致し御尋ニ付、 仁杉氏より申聞候事 仁杉氏裁判所へ出頭、 右口供呈し候事、 此方江者二件御尋ね有 来ル廿
- 竹むら良庵氏、 為見舞入来之事

### 十一月廿二日 庚申

- 松平信正公家令岸田躔殿御入来、 御主人様御面会ノ上、 昼飯御差出
- しニ相成候事
- 板倉勝達公工正油注文ニ付壱樽、 勝造以テ相送り候事
- 川越店徳三郎殿より此程長女髪置祝ヒノ礼状、 はかきニテ到来致候
- 梅若近右衛門殿、 謡稽古御入来之事
- 大工吉五郎相越シ、 手透ニ相成候間、 御用向御座候ハヽ被仰付度旨
- 申出候事
- 関野清市殿より兼テ借用 候本二冊、 勝蔵を以御返却申上候事
- 土方教殿御入来之事
- 大岡公御宅江若御主人様、 夜 二 御出二相成候事

### 十一月廿三日 二ノ酉

- 新川御隠居・多々良御隠居御入来之事
- 川越横田徳三郎殿より長女髪置答礼品到着之事
- 大岡公江御手紙使二勝蔵相越候事
- 乾先生同行ノ衆、 し候間、 新宿多々良玄達氏エ郵便を以、 参着之上ハ水薬及丸薬配達を以御送り被下候様申通し候事 例月之通御入来有之候事 若御主人水薬瓶本日物品配達江差出

### 十一月廿四日 戌 天気

- 本年積込沢庵遣ノ糠五斗、いつミや源助へ注文へ(漬) 松平信正公御台所より醬油壱樽注文書到来之事 いつミや源助へ注文致置候事

- 一、越後屋江大紋付印半天注文候ニ付、廻り人遣し候様はかき送り候事
- 、喜多むら江焚木注文候事
- 頭ニ付云々御相談有之、六時頃御帰り、十時頃此方より御同人宅江書、午後四時頃ヨリ仁杉氏入来、明廿五日久平次事件ニ付、裁判所江出
- 一、午後九時、大岡亨殿方江若御主人御越しニ相成候事

類勝蔵を以相届ケ候事

一、午前十時頃、川越横田御隠居御入来之事

### 十一月廿五日 曇天 亥

- 一、鳶勘太郎依願、本年分給金之内金壱円五十銭貸渡候事
- 原告出頭候様被達候事一、仁杉氏裁判所江出頭候処、判官数件呼出し候ニ付、乍迷惑来ル廿八日
- 一、大岡公より御使を以、午後五時頃より水野家江御出被下度旨、申来
- 候事
- 、午後五時頃より若御主人、水野公江御出被成、往返車之事
- 、和泉屋源介より糠五斗送り越候事

### 十一月廿六日 甲子 天気

- 一、吉方御砂取として、秀次郎公御砂取ニ車ニテ御越シニ相成候事
- 一、松平信正公御台所、岩倉邸内野口氏・矢野氏へ醬油壱樽ツヽ合三
- 樽、勝蔵を以相送り候事
- 、昨廿五日、安田善次郎殿入来、御主人御面会有之候事
- 一、越後屋工の半天六枚、木綿ハ壱反ニ付代金壱円十三銭、中等之品し

- 当町内及新右衛門組合、火之番当春中ノ通り発行候に付、町内差配人(町房)
- 但し店孝吉月番ニ付店ニテ集会也午後六時頃より店ニテ集会候事
- 黄田即急号・折川即急号、干发六寺頁二色)即人长台
- 、横田御隠居・新川御隠居、午後六時頃ニ至り御入来有之候事
- 両替渡世和泉屋江秩録公債証書ノ相戻取合相廻り候事第一国立銀行江小切手を以金五拾円孝吉受取ニ相越候、夫より兜町
- 掛物〆弐幅幷御状相添、使を以御遣し相成候事一、鈴木善三様より、四条大納言公任卿大色紙掛物・後京極院卿ノ色紙
- 、松平信正公家令岸田躔殿御入来、御主人面会被成候事

### 十一月廿七日 丑 天気

- 吉方御砂取として、本日も秀次郎公車ニテ御越しニ相成候
- 一、新宿多々良氏より手紙使口上ニテ、昨夜御家内義出産被致候処、死
- 、鈴木善三様御入来、御主人御面会有之候事

去致候旨申被越候事

- 、兜町和泉屋より宝永小判 ( 鴫ヒ ) 買入候事
- 竹むら良庵殿、為見舞入来之事
- 、仁杉氏より使を以、去ル廿一日裁判所口供写シヲ受取ニ相越シ、依テ
- 御使ニ御渡し申候事
- 一、若御主人様、午後五時頃より山下町水野家江車ニテ御越シニ相成候事

### 十一月廿八日 寅 天気

- 、古筆了仲殿入来、御主人御面会有之候事
- 、写字師河田守大殿入来に付、伝七面会之上、奥より三鳥ノ伝ノ書類

受取、 同人ニ写字依頼ス、 依テ店ニテ写字被致候事

本日仁杉氏、 東京裁判所江事件二付出頭候

河田守大殿、 古今三鳥伝写字二入来、 終日写シ、午後五時頃本来帰宿

新宿多々良氏妻君御死去に付、為御悔御主人御出被成、夫より理性寺 御仏参二御越候事

但し午後五時過御帰店之事

此留間清次郎入来二付、 横須賀長門屋売掛金催促ニ相越呉候様依頼

候

附テ同人義、 三十日前ニテ繁多ニ付、 十二月上旬ニ相越度旨申出

長崎むら沢庵屋直次郎入来ニ付、 干大根直段取極メ、 本年積込六百

百本に付金壱円七十銭にテ申附候事

### 十一月廿九日 雨

河田守大殿、写字ニ相越シ候事

安田善次郎殿より手紙を以、来ル七日午後三時ヨリ茶事相催候間

御越被下度旨申来候事

昨廿八日、 奥三郎兵衛殿代又吉入来之事

### 十一月三十日

付、右状相送ル、又吉不在ニ付受取証取来、即御主人上申候事奥三郎兵衛殿代亦造殿江大至急之手紙使被仰付候ニ付、則甲州第一国立銀行へ小切手拾弐号金ヨタ円 裏書孝吉受取ニ相越候事 則甲州 屋申

> 午後四時頃、 奥代又吉殿より手紙使到来之事

### 十二月一日 巳 曇天

奥三郎兵衛殿代又吉殿入来、 両御主人様御面会被成候事

秀次郎公、神田川平岡社江御越、 御供勝蔵とも往返車之事

鈴木善三様御入来、 退庁掛ケ立寄、本日久平次一件口供云々、御同人より御弁白有之候事 附テ仁杉氏御帰宅カケ、 御迷惑、伝七出頭写字依頼、(江脱) 御主人御面会有之候末、仁杉氏東京裁判所より 明二日裁判所本日口供写取度候間、 (土脱) 伝承諾いたし候事

伏見町・片門前町十月分地代上納ニ罷出、伝七落手仕候事

今夜より当町内弁新右衛門町合併火ノ番相始メ申候、 不行届候二付、 一両夜ハ鳶金蔵宅ヲ乍迷惑借受ケ候事 且夜番 所決議

### 十二月二日 午 十時頃より晴ル八時頃雨降ル

仁杉氏より昨日依頼ニ付、 頃相戻り候事 本日、 裁判所江口供写二伝七出頭、 一時

神田区神保町渡辺務殿よりはかき到来候事

築地西岡公妻君、今般奥州仙台江転住候二付、 暇乞トシテ同人弟粕谷

健次郎殿相越シ候事

河田守大殿、 写字ニ相越候事

奥三郎兵衛殿代又吉殿入来ニテ、 御主人様二面会願二相越、 御面会有

之候事

#### 十二月三日 未 (天候脱

河田守大殿、写字二相越候事

第一銀行鈴木善三様より御手紙使到来之事(人)

竹むら良庵殿、 見舞ニ相越候事

多々良玄達様亡妻初七日ニ付、 往返車之事 為墓参四ツ谷理性寺迄秀次郎公御出

### 十二月四日 雨天

鈴木善三様江掛物一 幅幷手紙添、 勝蔵御使ニ相越候事

当町・新右衛門丁組合火之番小屋、 主人様江上申ス、右入費ノ内ェ金五円御出金被下旨被 弥建築与決議候旨、伝七より御 仰渡候事

伏見町地所内永井三次郎義、 当直段ニテ買上ケヘキ旨被達候事(値) 於テハ困窮ニ付、如何とも致方無之、右ヲ打捨ヲケハ地代等損毛ニ可兼而書入ニ相成候処、右貸方より此程勧解ヲ願イ不調ト相成、三次郎 相成候間、此際ニテ三次郎家御買上ケ可然旨上申ス、両御主人より至 本年六月已来地代不納、 且同人建家ハ

、仁杉氏より手紙を以、 者江御渡呉候様申来り、 久平次事件ニ係シ候書類見合度義有之候間 依之書類風呂敷ニ包、 使之者江相渡候事 此

### 十二月五日 酉 おり曇天前十時頃

両御主人様、 水天宮様御参詣ニ御出被成候事

多々良玄達様御入来、 御帰り之節車差出候事

附車屋戻り之節、 若御主人之薬申請来候事

> 午後四時過、 鈴木善三様御入来、 御主人御面会在之候事

協議費・学校費、本日勝蔵を以区役所に相納メ申候事

当町・新右衛門丁火之番小屋新築費出金之義ニ付、高橋代平岡義兵

**衛** 竹屋代として尾崎入来有之候

右惣費金弐拾八円与見積り

此半価金拾四円也

右之内

当 店 出 金 同三円五十銭

高橋 竹屋

金五円

同弐円五十銭 Щ 本嘉兵衛 同弐円

同壱円 森岡平右衛門

べ金拾四円也

附テ山本嘉兵衛殿差配人清沢平治不参ニ候得共、 山本氏出金之

義者如前書取極仕候事

午後六時頃より秀次郎公・おまきさま、 御供勝蔵・たま相越候事 水天宮江参詣ニ御出被成

### 十二月六日

浦井竹窓殿御入来、御主人御面会有之候事

梅若近右衛門殿入来、 謡稽古有之候事

清水屋金七殿入来之事

伏見町永井三次事件ニ付堀事入来、伝七応対、云々談合候事仁杉英殿入来、明七日裁判所江差出し候上申書下案御持参之事

#### 十二月七日 亥 天気

## 渡辺務殿方よりはかき到来之事

### 附テ午前八時十分参着

昨六日午後三時頃 喜多むら代り藤丸庄之助方より焚木百束送り来

#### 候事

昨六日、引松葉之義二付植木屋金太郎江催促、(敷) 郵便はかき差出候事

### 浦井竹窓殿御入来、 即店より御帰りニ相成候事

仁杉氏裁判所江出頭、 対審有之、夫より来ル十二日、出頭被申付候旨

### 午後三時頃より安田善次郎殿茶事に付、 御主人様御出被成、 十一時

云々

附テ往返車之事

過

御帰りニ相成候事

### 十二月八日 子

上総市原郡草刈むら古地茂穂殿より伝七へ向ケ、同人方明治四年已

来本年迄店勘定書漸々落成候に付、

不日出京候旨案内旁礼状参着

魚屋太助相越、 本月一 日已来肴代之内三円内借願ニ出ル、 則チ相渡

昨七日、

川越店より消炭拾俵送り来候事

### 十二月九日 ∄: 天気

### 鈴木善三様御入来、 御主人様御面会之上、

御茶事有之候事

檜物町野むら子仙殿、 使を以来状之事

本日台所大掃除致し候、

勝蔵・はる・きよ相勤メ候事

### 十二月十日 寅

## 一、川越横田五郎兵衛様江郵便御差出之事

## 関野清市様より醬油壱樽注文之事

、孝吉義、本年五月已来病気ニ付時々不勤勝ニ付、 書差出ス、其儀ニ不及旨申渡候事 名代伝七を以身体伺(進退)

- 野むら子仙殿江手紙使ニたま相越候事
- 越前半切壱締、 秀次郎公を以三田むらより買入候事

但し注文

- 廻シ合羽付鳶其外品々、通三丁メ松葉屋注文候事(江殿)
- 内藤新宿多々良玄達氏江水薬瓶及粉薬袋、 はかきを以右ノ件案内候事 物品配達 へ本日差出 シ弁

### 十二月十一日 天気

吉日ニ付例年之通、 沢庵積込候事、 沢庵屋篠直次郎相勤メ候

- 若御主人・秀次郎公、蔵前能見物ニ御出被成候事
- 下谷竹町条野伝兵衛江茶事ニ御主人様御出被成候事
- 昨夜、針医岩瀬入来、 御主人御療治被成候事
- 川越横田徳三郎より昨十日出之状、 本日三時四十分到着候事
- 夜二入、仁杉氏宅へ風呂敷包書物、 勝蔵を以相送り候事

### 十二月十二日 辰 午後より晴ル曇天

### 御主人様、 檜物町野むら江茶事ニ御出被成、 午後四時頃御戻りニ相成

#### 候事

躋寿社員中林寬次郎殿、 十月卅一日死去候旨報道有之候事

附はかき二時三十分到着之事

松葉屋江注文候合羽付鳶壱枚持参幷此程買入候廻り合羽代金共拾四 円八十五銭、 振出し切手拾五円を以相渡候事

香取屋与七より表付駒下駄弐足・日和下駄弐足持参、 代金相渡候事

大岡亨殿幷吉田鉄蔵殿同道ニテ入来、 大岡氏而已相通り、 吉田氏ハ店

成瀬温先生入来、 ニ罷在、 其内同人ハ先江引取候事 御主人御面会有之候事

### 十二月十三日 巳 曇天

昨十二日中、 察所江伝七受取二相越候事 裏町取捨有之候人力車ノ片車、 本日御下ケ渡シニ京橋警

町内番小屋新築落成候二付、 見分届出テ候事

畳屋新兵衛方より職人相越シ、 茶屋敷幷広間畳縁造ヒ候事(繕)

明十四日楳払候ニ付手伝ニ相越候様、(爆) 差出候事 大工吉五郎·植木屋金太郎郵便 (江脱)

鈴木善助殿店江餅米見本催促状差出候事

大岡氏案内ニテ田むら又吉・長田清太郎入来、 御主人様御面会有之

候事

午後四時頃、 深川佐賀町奥三郎兵衛殿代又吉方江手紙遣イニ、 甲州

同五時過ニ至り、 奥手代又吉より手紙使到来之事

屋より壱人雇上ケ候事

仁杉氏御入来、 昨十二日裁判所江出頭候処、 原告代人取調不行届候

> 間、 来ル十六日迄日延願出候事

附テ原告より仁杉氏云々依頼御咄し有之事(江殿)

梅若近右衛門殿 同人妻病気ニ付、 昨今稽古ニ罷出侯義御断りニ 御

岩瀬針医、 療治二夜二入来、 後十時頃帰宿候事

出被成候事

### 十二月十四日 午 天気

大掃除に付、 大工吉五郎・植木屋金太郎手伝相越候事

植木屋金太郎より引松葉拾俵持参候事

第一銀行へ勝蔵小切手を以金五百円受取ニ相越候事

奥三郎兵衛代土屋又吉入来、 御主人様御面会被成候事

夜ニ入、 岩瀬針医療治二入来候事

夜二入、若御主人様幷伝七、仁杉氏宅罷出候事

### 十二月十五日 未 曇天

植木屋金太郎、庭縁顔下簾洗ヒ候事御主人様、八百善茶事ニ車ニテ御出被成、 後五時半頃御帰店之事

` 新堀へ消炭弐俵車ニテ相送り候事

若御主人様、 西しま先生へ見舞ニ御出被成候事

午後六時頃より町内夜番費取集メ勘定致候、 差配人尾崎・渡辺・

沢・藤田入来有之候事

浦井竹窓殿より郵便はかき到来之事、 午十二時三十頃到来ス(分脱)

### 十二月十六日 申 曇天

植木屋金太郎相越シ、茶座敷廻り砂利洗ヒ幷建仁寺竹下拵候事

仁杉英殿御入来、若御主人御面会、事件書物受渡シ、御同人者裁判

江出頭候事

附テ仁杉氏より伝七へ、本日日延ニ候ハヽ後刻伺公不致旨、御談(億)

シ有之候事

浦居竹窓氏御入来、 御主人御面会、 後三時頃御帰りニ相成候事

安田氏注文之鳥ノ子尺弐寸判五十枚、 寺しま藤介ヨリ買入候事

右ニ付小泉江地紙持参、来ル廿五日迄ニ落成ノ約定ニテ依頼候事

川越店より準備金云々報、 昨十五日郵便到来候事

来ル十三日より本日迄日数四日分、賃銭ヲ被下候事

十二月十七日 夫より雪 今暁三時頃より

本日釈誓薫禅尼位御祥月正当ニ付、聞城寺へはかきを以読経被下候(ថ)

様申送ル、右ニ付茶飯・ケンチン非時被下候事

第一銀行金七拾円小切手を以勝蔵受取ニ相越候事神田(言)店江餅米催促、郵便差出シ候事

越後屋より半天八枚之内六枚出来持参之事

本日四番蔵二階下幷同所前 ·廊下前御掃除致候、 手伝鳶金蔵・大工吉

兵衛相越候事

十二月十八日 戍

若御主人・秀次郎公、 蔵前能見物 二御出被成候事

錣蔵及稲荷土蔵大掃除致候事

為手伝鳶勘太郎代由蔵相越ス

一、鈴木善三様店餅米見本御遣シ、御主人様江上申ノ上、円ニ六升与申品

取極メ四斗、 明十九日迄二持参候様、 はかきを以注文候事

関野清一様より (米) 壱樽注文ニ付雇上ケ、本日相送り候事

### 十二月十九日 亥 天気

昨夜六時頃、東京裁判所より久平次当テ御差紙到来ニ付、 伝七事実

申述、難受取書面認、 御使之衆江戻候事

、見世蔵二階下本日大掃除致候、為手伝鳶金蔵・左官弐人、伝七・

安田善次郎殿より奥津鯛弐枚・手紙壱通到来、

蔵ニテ相勤メ候事

相送り候事

梅若近右衛門殿、謡・舞稽古ニ相越シ候事 (音)店より餅白米四斗入壱俵送り来、代金相渡候事

田むら又吉・長田清太郎殿入来、 若御主人御面会被成候事

植木屋金太郎江はかきを以、 明廿日仕事二相越候申遣候事

### 十二月廿日 天気

今朝、 植木屋金太郎方江仕事二相越候様、 勝蔵迎ニ相越候事

夫より亦々、正午より伝七相越、 金太郎仕事先ニテ面会致、召連レ来

大工吉兵衛より職人壱人相越、 裏町寄セ掛竹修繕候事

大岡亨殿御入来、 御主人様御面会被成候事

第一銀行より来ル一月集会案内状到来之事

為返礼関□□□三ツ

- 明廿一日吉例家鎮搗二付、 餅白米立花屋江四斗 相渡候:
- 仁杉英殿御入来、 若御主人御面会有之候事

### 十二月廿一日 丑:

- 御渡シ被下候様申来候、 第壱銀行より使を以、 昨夜差上来ルー月集会状ニ書洩有之候ニ付 依テ相渡遣し候事
- 松葉屋吉兵衛より、兼而御注文ニ相成居候鳶付廻シ合羽落成持参、 テ座蒲団壱枚御注文ニ相成候事 御主人御召被成侯上、 尚帯・牡丹ノ工合直し被仰付、外ニ余り切レニ
- 仁杉英殿、本日裁判所江出頭、来ル廿四日ニ罷出候様判官より達候事
- 川越店より岩蔵与申者に依頼ニテ来状之事
- およし殿、 築地南小田原町渡辺務方江御出被成、 後五時頃御帰り之事
- 植木屋金太郎仕事ニ相越ス、 依テ為手伝鳶金蔵雇上ケ候事
- 宇治茶師山上善太夫より、来ル十九日参着候旨案内有之候に付、 六時頃より茶壷持参、 詰<sup>二</sup>勝蔵相越候事 後
- 本日吉日ニ付、 吉例家鎮餅搗店中祝ヒ候事

### 十二月廿二日 寅

- 御主人様御祈禱有之候事
- 植木屋金太郎外二職人壱人幷鳶金
- 蔵手伝候事
- 松平信正公江、
- お出稲荷御参詣、 <sup>(招来力)</sup> 若御主人様、古筆 詣、潮江院・東覚寺、車ニテ旬呂を『江殿』 古筆了仲・条野伝兵衛・安田善次郎、聞城寺御仏参・古筆了仲・条野伝兵衛・安田善次郎、聞城寺御仏参・古筆了仲・条野伝兵衛・安田善次郎、聞城寺御仏参・

- 松平信正御内岸田躔殿御入来、第一銀行封書弐通到来、受取ぎ 受取差出し候事
- 御主人御面会之事
- 川越店江冬至祈禱之御守、 郵便を以相送り候事
- 冬至二付例年之通、 雑煮餅店中祝ヒ候事

### 十二月廿三日 卯 後五時頃より雨降ル午前雨・雪、正午後より

- 植木屋金太郎仕事二入来、 終日相勤メ候事
- 釈照賢信女霊位御祥月ニ付、 附テ御主人御実亡母様御祥月ニ付、蒸物料として店中江三銭ツ、被 店中江非時被下幷平料被下候

- 乾先生御一行幷襟女隠居御入来、(善脱) 三十分御帰りニ相成、 襟善隠居ハ車に付御帰りに相成候事(㎡) 夕飯ニ御志之非時差出シ、 午後六時
- 浦居竹窓殿御入来有之、 本日ハ来客に付御面会御断申上候事
- 仁杉英殿より手紙を以、夜中ニ候得共、伝七承り合度義有之候間入(江脱) 来申来り、 伝七只今差支候間、 明朝伺公之旨答候事

### 十二月廿四日 辰

- 植木屋金太郎仕事二入来、 鳶金蔵手伝候事
- 第一銀行へ小切手を以金百弐十円伝七受取来候事
- 正午より松平信正公江若御主人車ニテ御越シニ相成候事
- 今朝伝七、 仁杉氏宅江罷出候事
- 秀次郎公、 吉方御砂取ニ車ニテ御出被成候
- 鈴木善三様御入来、 御主人御面会被成候事

- 、浦居竹窓殿・松□氏御入来之事
- 一、川越店よりはかきを以、来ル廿一日並便を以〈米〉 拾樽積出シノ案内
- 一、庭用水越砂、土屋太郎兵衛より六斗買入候事(濾)
- 一、煙草及田作・雁喰豆買入ニ勝蔵相越候事

# 一、永井三次郎地代滞金ニ付弥出訴云々、堀事江相達候事

### 十二月廿五日 巳 天気

- 一、奥三郎兵衛殿代又吉入来、若御主人様御面被成候事
- 田氏病気に付、兼而依頼候写し物相渡呉候様申来候事一、伏見町永井三次郎地代淹滞ノ件出訴之義に付、宗田寛入来幷写字河
- 一、成瀬先生・井上久七殿はかき、十時三十分到来之事
- 、大工吉兵衛相越、茶屋敷床柱埋メ木修繕候事
- 昨夜大工吉五郎入来、唐木襖いタシ注文ヲ請候事
- 但シ木代トシテ金壱円相渡候事
- 、植木屋金太郎仕事ニ相越候事
- 、梅若近右衛門、謡稽古二入来候事
- 一、午後より焚木ヲ割候事
- ミ有之候事一、仁杉氏御入来、久平次事件裁判云々ニテ御入来、後ニ至り謡御ナクサ
- 等有之、後九時頃、土方・古地両人車ニテ相送り候事呉候様差出シ、御主人落手、来春迄御預り申候旨答、夫より酒肴・謡穂殿入来ニ付、御主人御面会後、古地より醬油造店卸勘定書披見致、水野家令土方教殿為案内、上総市原郡草苅むら醬油造支配人古地茂

## 十二月廿六日 午 雨 後より曇天

- ハヽ、此者江御渡し方云々申来、依テ明十二時迄ニ落成候旨答候事、安田善次郎氏より手紙を以、兼而御依頼申上候桐浮形唐紙地出来候
- 、浦居竹窓殿よりはかき、後二時二十分頃到来候事
- 久代吉十郎様御入来、御主人御面会被成候事
- 、浦井竹窓殿御入来、御主人御面会被成候事
- 、第一銀行より封書壱通、使を以到来之事
- 、鈴木善三様・鳶金蔵より歳暮到来之事
- 一、大工吉兵衛・焚木屋金太郎・鳶金蔵、仕事ニ入来候事

### 十二月廿七日 未 曇天

- 、浦居竹窓殿入来、御主人御面会被成候事
- 一、安田氏より依頼ノ雲州好唐紙地、小泉より出来候ニ付、後二時頃よ
- り安田氏方江勝蔵を以相送り候事
- 受取来候事一、松浦氏江御主人様御使ニ勝蔵相越シ、右序ニ同人江売掛金ノ内金壱円
- 、大工吉兵衛・植木屋金太郎、仕事ニ相越候事
- 、多々良玄達氏より郵便を以、薬員数調書到来之事

### 十二月廿八日 申 後より晴

産鰒皮到来候事一、今朝安田氏より使を以、桐浮形唐紙地代金弐十六円送来り、外ニ雲州

セ 頃 よ

- 右同人より使を以、桐浮形半セツ三十枚、 之、小泉江申付候事 明廿九日中出来候様依頼有
- 例年之通、 家鎮餅飾・神々御飾孝吉相勤メ候事
- 竹むら良庵殿、 見舞ニ相越候事
- 目黒祐天寺より例年之通、牛蒡壱抱為歳暮到来ス、依テ当家より金
- 川越店より正油拾樽送り来候、 諸掛り拾五銭相払候事

植木屋金太郎仕事ニ参ル、大工吉兵衛半日仕事ニ来ル候事

- 若御主人様、仁杉氏江夜入御出被成候事
- 鈴木善三様江歳暮甲永五百枚相贈候事
- 第一銀行より秀次郎公金三十円小切手を以受取来候事

### 十二月二十九日 酉

- 植木屋金太郎、 仕事ニ来り候事
- 第三十三国立銀行内三村氏使之者参り候事
- 梅若近右衛門殿・古筆了仲殿入来之事
- 伊豆国賀茂郡田むら某殿外壱人、 テ両人参候事 帰国致候間御礼参上候旨、 手札ニ
- 第三十三国立銀行三むら氏へ勝蔵御使ニ参候事

### 十二月三十日 戌 (天候脱)

- 本日、 諸向仕払取調候事
- 昨夜御主人様・若御主人様・よし殿立会ニテ、召抱男女江年暮賞与金 及出入職方等年暮ハ伝七江御渡しニ相成候事

- 第一銀行より勝蔵金百三十円受取来候事
- 下掃除人弥四郎入来、 受取候事 十五年分掃除代金十八円五十銭 (帯七円極メ)
- 梅若近右衛門・仁杉氏御入来、 附テ仁杉氏より召使中江手拭壱反到来之事 語御催有之候事

### 十二月三十一日 亥

- 植木屋金太郎、庭石洗金蔵共仕事致し候事
- 、片門前差配人中むら伊之吉、 廿五銭旦那より被下候事 為歳暮砂糖壱斤持参致候二付、 為歳暮
- 竹村先生殿入来、供酒料六銭遣し候事
- 第一国立銀行ョリ秀次郎様三十円受取、 伝七三十五円受取来候事
- 諸向エ仕払致し、 夫々受取印取之候事
- 、(空白)

(裏表紙)

田中店